

Joie™

ジョイー・チャイルドシート

i-Spin XL

アイスピン XL

取扱説明書／保証書

ECE R129 適合

【後ろ向き使用時】

適応身長 40cm-105cm

適応体重 2.5kg-18kg まで

年齢の目安 0[※]~4 歳頃まで使用可能

※在胎週数 37 週以上かつ出生時体重 2.5kg 以上の
お子さまにご使用いただけます。

【前向き使用時】

適応月齢 生後 15 か月以上

適応身長 76cm-105cm

適応体重 18kg まで

使用可能終期の目安年齢

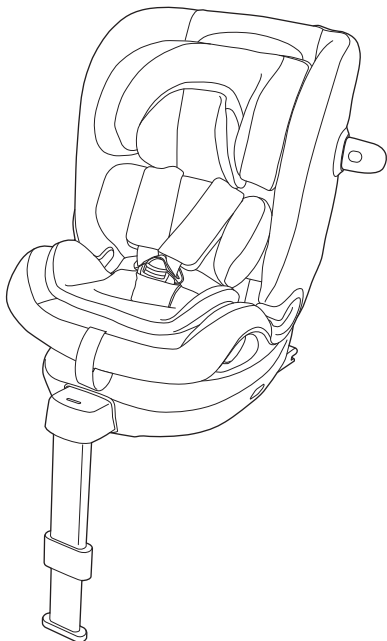
4 歳頃まで使用可能

【ブースターモード時】

適応身長 100cm-150cm

適応体重 36kg まで

年齢の目安 3.5 歳~12 歳



ECE R129 : i-Size

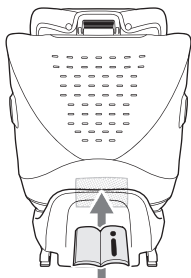
2506V02

JP Welcome to Joie™

ジョイ・チャイルドシートをお求めいただき、誠にありがとうございます。本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。

本製品は、ECE R129 基準に適合するチャイルドシート、ブースターシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本製品（シェル）背面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



**シェルの背面の生地の内側
袋状の部分に収納します**

ポイント!

シェルが前向き状態で固定されていると、取扱説明書ホルダーの取り出しができません。シェルを後ろ向きに回転させてから取扱説明書の出し入れを行ってください。

参照 P59-65 ▶シェルの回転

はじめにお読みください	4	お子さまの乗せかたと降ろしかた	72
ユーザー登録のお願い	4	ブースターモードでのお子さまの乗せかた	80
正しい使用	5	準備と確認	81
チャイルドシートについて	5	乗せかた	82
使用に関するアドバイス	6	お手入れのしかた	89
適合する自動車の座席について	6	股ベルトパッド、インファントインサート、	
本製品の情報	6	肩ベルトパッド、カバー類の取り外し	90
表記の説明	7	股ベルトパッド、インファントインサート、	
内容物の確認	9	肩ベルトパッド、カバー類のお手入れ	99
各部の名称	10	本体（ベース・シェル）のお手入れ	101
使用できるお子さまの条件	12	除菌・抗ウイルス製品の使用に	
自動車の座席に関して	14	あたったの注意	103
使用可能な座席の位置と向き	14	保管のしかた	103
シートベルトの使用	14	廃棄のしかた	103
使用できない座席	15	保証書	106
使用上の注意事項	18		
緊急時の操作	29		
基本的な使いかた	30		
サイドインパクトプロテクション (SIP)			
の使いかた	30		
バックルの使いかた	31		
インファントインサートの使いかた	33		
肩ベルト（ハーネス）の長さ調節	37		
リクライニングの使いかた	38		
ヘッドサポートの長さ調節	39		
サポートレッグ	40		
本製品の ISOFIX による取り付け、取り外し	43		
3点式シートベルトのみで使用する場合は			
設置	54		
シェルの回転	59		
ブースターモードへの切り替えかた	65		
後ろ向きモード、前向きモードでのお子さまの			
乗せかた	71		
準備と確認	71		

はじめにお読みください

本製品は、ECE R129 基準に適合する、チャイルドシート、ブースターシートです。
本製品を使用するには、本製品を使用するモード（後ろ向き使用時、前向き使用時、ブースターでの使用時）によって、それぞれお子さまが下記の条件を満たしている必要があります。

【後ろ向き使用時】

身長 40cm~105cm まで

体重 2.5kg ~ 18kg（目安として 0*歳から 4 歳頃まで使用可能）

※在胎週数 37 週以上かつ出生時体重 2.5kg 以上のお子さまにご使用いただけます。

【前向き使用時】

生後 15 ヶ月以上

身長 76cm~105cm まで

体重 18kg まで（目安として 4 歳頃まで使用可能）

【ブースター使用時】

適応身長 100cm-150cm まで

適応体重 36kg まで（目安として 3.5 歳 ~12 歳まで使用可能）

使用するモードにより、使用可能なお子さまの範囲が異なりますので、ご注意ください。

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

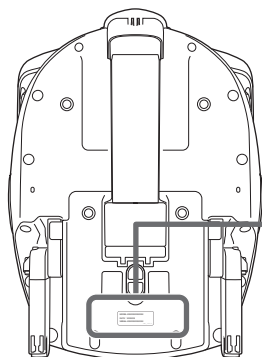
このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。

お預かりしたお客様の個人情報は、当社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。



<https://www.katoji.co.jp/childseat.html>

ユーザー登録に必要な情報は、本製品の底面に記載されています。



MODEL:XXXXXXXXXXXX

DATE: XXXXXX

SERIAL:XXXXXXXXXXXX

JK008_C0902\$D

正しい使用

本製品が、所定の安全性能を発揮できるように、本書および本体の表記の指示に従って、正しく自動車の座席に取り付けて、正しい方法で使用してください。

チャイルドシートについて

本製品は、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、本製品を正しく使用しないと、交通事故や急制動時に本製品が所定の安全性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。事故時や、緊急事態には、お子さまを直ちに応急処置し、医療機関にご相談ください。

適合する自動車の座席について

本製品は、ほとんどの自動車の座席で使用することができますが、すべての自動車、座席において使用できるとは限りません。

本書および自動車の取扱説明書を参照の上、確認してください。

以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の当社お客様サービスまでお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は適宜更新しています。

カトージ ホームページ

katoji.co.jp

本製品の情報

本製品はお子さまの成長に応じて3種類のモードを切り替えることにより長期間使用できるチャイルドシート、ブースターシートです。

ISOFIX 固定装置で使用する場合〔後ろ向き / 前向きチャイルドシート〕

1. 本製品は、ECE R129 によって認証された i-Size エンハンスド・チャイルド・レストレイント・システム（チャイルドシート）です。自動車の取扱説明書において i-Size 対応と示された座席において使用することができます。ただし、車種、座席によっては、本製品の使用において一定の条件や制限事項が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。当社の適合車種一覧、自動車の取扱説明書をご確認ください。
2. 本製品の取り付け、使用に関して疑問がある場合は、お買い求めになった販売店または当社お客様サービスまでご連絡ください。

3 点式シートベルトで使用する場合〔ブースターシート〕

3 点式シートベルト+ ISOFIX 固定装置で使用する場合〔ブースターシート〕

1. 本製品は、ECE R129 によって認証された i-Size ブースターシート・エンハンスド・チャイルド・レストレイント・システム（ブースターシート）です。主として、自動車の取扱説明書において i-Size 対応と示された座席において使用することができます。ただし、車種、座席によっては、本製品の使用において一定の条件や制限事項が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。当社の適合車種一覧、自動車の取扱説明書をご確認ください。
2. 本製品の取り付け、使用に関して疑問がある場合は、お買い求めになった販売店または当社お客様サービスまでご連絡ください。

原材料 : プラスチック／金属／縫製品

パテント No. : 特許出願中

表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・ご留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
 危険	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害を与えたりすることがあり得ることを示します。

禁止と警告

表記	表記の内容
	警告や注意を促す事柄を示しています。
	禁止事項を示します。

強調・禁止の表記について

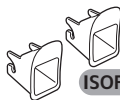
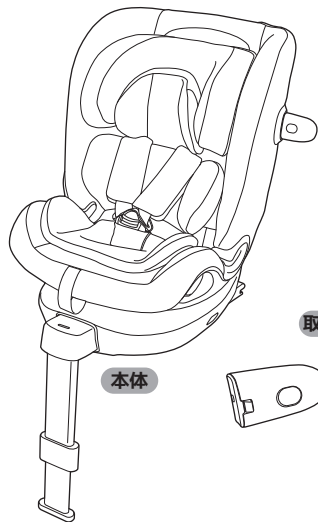
表記	表記の内容
	この表記に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表記に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

ポイントの表記について

 ポイント!	この表記に付随して記載されている事柄は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいて頂きたい重要な情報や、本製品をより便利にご使用いただくための情報です。
--	---

内容物の確認

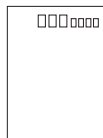
本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



ISOFIXガイド×2

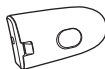


取扱説明書（本書）



ユーザー登録ハガキ

本体



サイドインパクトプロテクション※

※P30「サイドインパクトプロテクション（SIP）の使いかた」を参照して本体に取り付けてください。本製品を取り付けた座席のドア側に取り付けます。

⚠ 警告

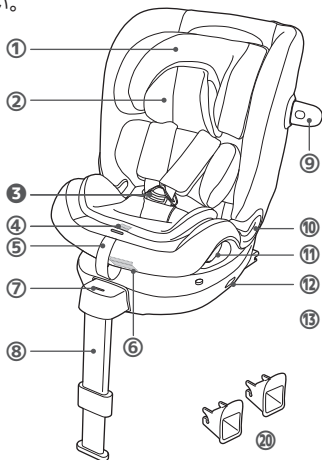
窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

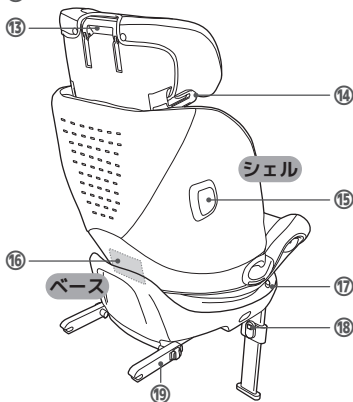
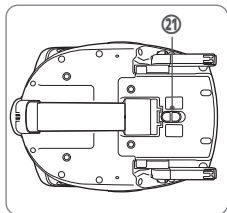
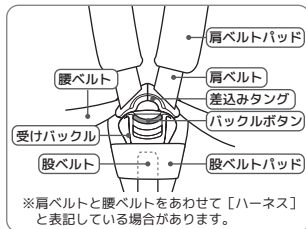
各部の名称

本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。



③ バックル／ハーネス



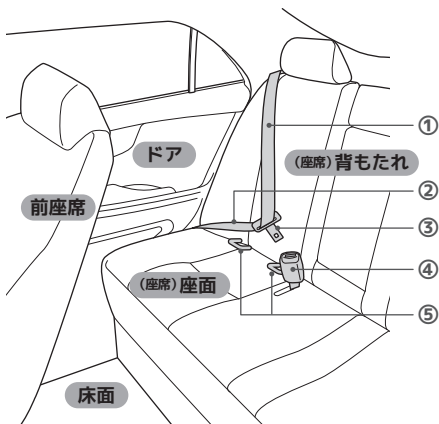
- ①ヘッドサポート
- ②インファントインサート
- ③バックル／ハーネス
- ④ベルトアジャスター
- ⑤アジャストベルト
- ⑥リクライニングレバー
- ⑦サポートレッグインジケーター
- ⑧サポートレッグ
- ⑨ SIP (サイドインパクトプロテクション)
- ⑩腰ベルトパス (ブースターモード)
- ⑪回転レバー
- ⑫ ISOFIX アジャスターボタン
- ⑬ヘッドサポートアジャストレバー
- ⑭肩ベルトガイド (ブースターモード)
- ⑮ SIP スロット
- ⑯取扱説明書ホルダー
- ⑰回転ロックボタン
- ⑱サポートレッグアジャストボタン
- ⑲ ISOFIX コネクター
- ⑳ ISOFIX ガイド
- ㉑サポートレッグ収納ボタン

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。

【シートベルト】

- ①シート肩ベルト
- ②シート腰ベルト
- ③シートタング
- ④シートバックル
-
- ⑤ ISOFIX 固定装置



👉 ポイント!

自動車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、自動車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合する基準（ECE R129）によって定められており、使用するモードによって、それぞれ使用可能な範囲が異なります。

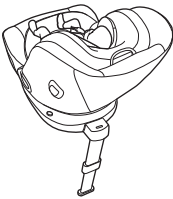
それぞれの範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

⚠危険

条件に当てはまらない場合は使用しないこと

各モードで定められた使用可能な条件をお守りください。条件に満たない、または超えての使用は大変に危険です。

後ろ向きモード（チャイルドシート）

	シェルの向き	自動車の進行方向に対して後ろ向き
	取り付け方法	ISOFIX+サポートレッグ
	お子さまの固定	本製品のハーネス
	リクライニング	1-5が使用可能
	インファントインサート	身長60cmまでの使用を強く推奨
	使用可能なお子さまの条件	
	身長	40cm-105cm
	体重	2.5 ^{※1} -18kgまで
年齢/月齢（目安）		0 ^{※1} -4歳頃まで使用可能 ^{※2}

※1 在胎週数 37 週以上かつ出生時体重 2.5kg 以上のお子さまにご使用いただけます。

※2 年齢は目安となります。使用の可否は、身長および体重で定められています。

前向きモード（チャイルドシート）

	シェルの向き	自動車の進行方向に対して前向き
	取り付け方法	ISOFIX+サポートレッグ
	お子さまの固定	本製品のハーネス
	リクライニング	1-5が使用可能
	インファントインサート	使用できません
	使用可能なお子さまの条件	
	身長	76cm-105cm
	体重	18kgまで
年齢/月齢		15ヵ月-4歳頃まで使用可能 [※]

※ 15 ヶ月を超えるまで使用不可。使用可能終期の 4 歳は目安です。

ブースターモード

	シェルの向き	自動車の進行方向に対して前向き
	取り付け方法	3点式シートベルト+ISOFIX固定装置
		3点式シートベルト
	※ブースターモードではサポートレッグは使用しません	
	お子さまの固定	3点式シートベルト
	リクライニング	1-5が使用可能
	インファントインサート	使用できません
	使用可能なお子さまの条件	
	身長	100cm-150cmまで
	年齢/月齢（目安）	3.5歳-12歳まで使用可能

⚠危険

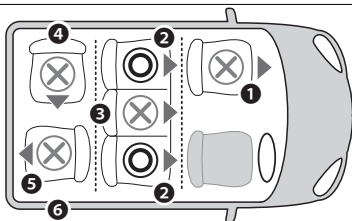
シェルは前向きまたは後ろ向きのいずれかで使用すること

本製品にはお子さまの乗せ降ろしをしやすいするために、自動車の座席に取り付けた状態で、シェルが回転する機能が採用されています。

使用できるお子さまの条件に記載の内容に従って、シェルを後ろ向きまたは前向きで確実に固定してください。横向きや斜め向きの状態では絶対に使用しないでください。

自動車の座席に関して

使用可能な座席の位置と向き



- | | | |
|--------------------|-------|----------------------|
| ① 助手席 | | × 使用不可 ^{※1} |
| ② 2 列目左右ドア側席 | | ○ 使用可能 ^{※2} |
| ③ 2 列目中央席 | | × 使用不可 |
| ④ 進行方向に向かって横向きの座席 | | × 使用不可 |
| ⑤ 進行方向に向かって後ろ向きの座席 | | × 使用不可 |
| ⑥ 3 列目以降の左右座席 | | ○ 使用可能 ^{※2} |

※1：使用できません。より安全な後部座席での使用をお勧めします。

※2：使用できる可能性があります。

自動車の取扱説明書において i-Size 対応と指定されている座席では、原則として使用が可能です。諸条件により使用を推奨しない場合があります。また i-Size 対応と表記されていない座席でも使用することがある場合があります。

本製品が使用できる車種、座席の情報に関しては、適合車種一覧で確認していただけます。

カトージ ホームページ

katoji.co.jp

⚠ 危険

使用の可否の条件を守ること

上記の座席すべてで使用可能とは限りません。

上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席でのみ使用可能です。

シートベルトの使用

ブースターモードでは3点式シートベルトを使用します。2点式シートベルトや5点式シートベルトの座席、シートベルトが装備されていない座席では使用することができません。

使用できない座席

本製品は、すべての自動車、すべての座席で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

適合車種一覧で取り付け不可、使用不可となっている車種または座席

本製品の適合車種一覧で、取り付け不可、使用不可となっている車種または特定の座席では使用できません。また車種が適合していても、すべての座席で取り付け、使用可能とは限りません。天井高や床面の制限により i-Size 対応の座席でも使用できない場合があります。ご購入前、ご使用前に適合車種一覧をご確認ください。

助手席

当社ではチャイルドシートの助手席での使用は推奨しておりません。事故や衝撃を受けた際にダッシュボードにぶつかったりするほか、運転に支障をおよぼすおそれもありますので、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、重大な事故につながるおそれがあります。フロントエアバッグを装備している座席では使用しないでください。特に後ろ向きでの使用時には、チャイルドシートが急激に押し出されるため非常に危険です。



本製品の取り付け操作中に動く座席

本製品の取り付け操作中に前後に動く、座席背もたれの角度が変化する座席には取り付けしないでください。

本製品を安定して設置できない座席

極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席では、本製品が安定しないため取り付けできません。また、適合車種でも、限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、適合車種一覧での取り付け可否に関わらず、本製品を安定して設置できないこともあります。



⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

本製品または車両や座席の操作により、本製品と車内の構造物が干渉する座席

本製品はお子さまの乗せ降ろしを容易にするためシェルが回転するようになっており、また、お子さまがより快適に過ごせるようにシェルがリクライニングする機構を採用しております。これら本製品の機構の操作や、車両の操作（座席の位置移動やリクライニング、ドアの開閉など）により、本製品および車内の構造物が干渉する座席での使用はお控えください。本製品の取り付けは可能であっても、これらの干渉により、本製品や車内の構造物が破損するなどして安全に機能しなくなるおそれがあります。



乗員の脱出に影響を与える座席

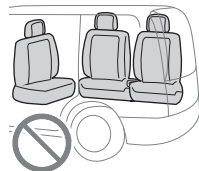
片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。



進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ取り付け使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席では取り付け使用できません。



本製品の取り付けにより、自動車の重要な操作に支障をきたす座席

本製品を取り付けることにより自動車の操作に影響をおよぼさない事をあらかじめ確認した上で、取り付け、使用してください。非常時や緊急時も想定してあらゆる操作に影響しないことを確認してください。

本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

本製品を使用すると、ドアミラーが見えにくくなる、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウイinkerなどの操作に影響を与え、自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。本製品は後部座席で取り付け、使用してください。

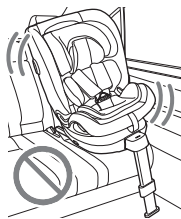


⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

しっかりと取り付けられない座席や、取り付け作業中に安定しない座席

取扱説明書に従っても、しっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度等に異常がある、サポートレッグが接地しない、座面の形状が変化する座席など、正常に安定して取り付けや使用ができない座席では、使用しないでください。



パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。

自動車のドアの開閉操作や可動式座席の操作に干渉する座席

本製品を、ドアや可動式座席の動きに干渉する座席に取り付けると、自動車の操作に影響を与えるだけでなく、本製品の破損や、本製品の正しい取り付け状態に影響をおよぼすおそれがあります。

床面に構造物や段差があるなど、サポートレッグが安定して接地しない座席

本製品は、サポートレッグを使用します（ブースターモードを除く）。サポートレッグは安定して安全に自動車の床面に接地させる必要がありますので、床面に収納ボックスなどの構造物やサポートレッグに干渉する段差がある座席、床面に十分な強度がない座席では使用できません。



日常的な使用時に干渉する座席

日常的なチャイルドシートの使用において、本製品の操作時、自動車の座席を動かした際、自動車のドアの開閉時に、本製品と自動車の構造物、可動部が干渉する座席では使用しないでください。

ISOFIX 固定装置を装備していない座席（後ろ向きモード、前向きモードの場合）

本製品は、後ろ向きモードと前向きモード（チャイルドシート）では自動車の ISOFIX 固定装置を使用します。ISOFIX 固定装置のない座席ではこれらのモードでは使用することができません。

ブースターモードでは、ISOFIX 固定装置がない座席でも使用可能ですが、3 点式シートベルトが必要となります。

⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

仕様が異なる ISOFIX 固定装置の座席

ISOFIX 固定装置が装備されていても本製品が使用可能とは限りません。

年式の古い車種においては、使用可能なチャイルドシートを指定している場合があります。

本製品は、後ろ向きモードと前向きモードでは、本製品の条件に適合する仕様の汎用 ISOFIX 固定装置が装備された座席でのみ取り付け可能です。

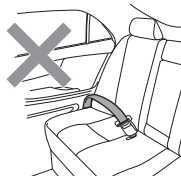
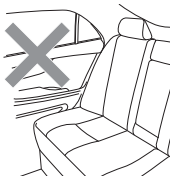
またブースターモードでも、ISOFIX 固定装置を使用する場合は本製品の条件に適合する仕様の汎用 ISOFIX 固定装置が装備されている必要があります。ISOFIX 固定装置の仕様については、自動車の取扱説明書をご確認ください。



3 点式シートベルトの装備されていない座席（ブースターモードの場合）

ブースターモードでのご使用の場合、自動車の 3 点式シートベルトが必要になります。シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2 点式シートベルト、5 点式シートベルトでも使用できません。ブースターモードにおいて ISOFIX 固定装置を使用する場合も同様です。

ブースターモードは、必ず 3 点式シートベルトが装備された座席で使用してください。



使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

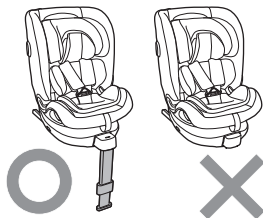
ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、「してはならない」重要な禁止事項や、注意していただきたい重要な事柄について説明しています。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることが示します。

サポートレッグを必ず開いて使用すること（ブースターモードを除く）

本製品は、ブースターモードでの使用時のため、サポートレッグをベース内に収納することができる構造になっていますが、ブースターモード以外で使用する場合はサポートレッグを開いて正しく床面に接地させる必要があります。



本取扱説明書および本体の表記に従って正しく自動車の座席に取り付け、使用すること
本書の指示にない使いかたはしないでください。使用するモードに応じて、本書および製品本体に記載する方法以外での取り付け、使用はしないでください。正しく固定されていないと事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

本製品の取り付け、設置場所に注意すること

取り付け、設置する場所によっては、お子さまが可動式の座席や自動車のドアに挟まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。あらかじめ安全を確認した上で取り付け、使用してください。

使用条件を厳守すること

本製品は適合する基準によって使用できるお子さまの条件が定められています。この使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。後ろ向き、前向き（生後 15 ヶ月を超えるまでは、後ろ向きモードでのみ使用できます）、ブースター、それぞれのモードで使用できるお子さまの条件が定められています。本製品は、それぞれの条件に適合した状態でのみ使用することができます。



本製品は取扱説明書および自動車の取扱説明書の内容を理解した大人の方が操作すること

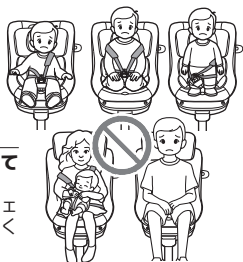
本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぼおそれがあります。たとえ使用方法を理解していたとしても、お子さまには本製品を操作をさせないでください。また、第三者に本製品を使用させる場合にも、本書を必ず参照させて本製品を正しく使用できるようにしておいてください。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることが示します。

お子さまを正しく座らせて使用すること

本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調節して、正しくお子さまを座らせて使用してください。シートベルトを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



取扱説明書は本製品背面の取扱説明書ホルダーに入れておくこと

いつでも取り扱い方法を確認できるよう、本書は常にシエル背面の取扱説明書ホルダーに入れて保管しておいてください。

指定する方法以外での取り付け、固定をしないこと

本製品は、使用するモードに応じて本書の指示に従って取り付け、固定します。本製品の固定やお子さまの固定のために、ひもや帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。また、正しく固定した上にこれらのもので補強してもいけません。これらのものが本製品の固定に影響を与えたり、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



後ろ向きモード、前向きモードでは3点式シートベルトを使用しません

3点式シートベルトはブースターモードでのみ使用します。後ろ向きモード、前向きモードでは3点式シートベルトを本製品の固定やお子さまの固定の補強に使用しないでください。

本製品の取り付けに関わる部位、部品に異常が認められる場合は絶対に使用しないこと

それぞれのモードにおいて、本製品を自動車の座席に取り付けるために必要な部位、部品（ISOFIX 固定装置、ISOFIX コネクター、3点式シートベルト、サポートレッグなど）に異常がある場合は本製品を使用しないでください。



お子さまの固定に関わる部位、部品に異常が認められる場合は絶対に使用しないこと

後ろ向き、前向きモードでは、お子さまは本製品のハーネスを装着します。ハーネスやバックルに異常が認められる場合は本製品を使用しないでください。ブースターモードでは、お子さまは自動車の3点式シートベルトを装着します。自動車のシート肩ベルトやシート腰ベルト、シートタングやシートバックルに異常が認められる場合、その座席では本製品を使用しないでください。

⚠危険

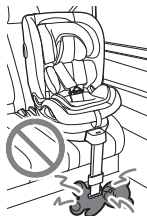
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

指定外のアクセサリを追加して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。チャイルドシート用、ジュニアシート用、ブースター用とされていても、当社指定外の市販のマットやソフトクッションなどを本製品に追加して使用しないでください。

指定以外の向きで自動車の座席に取り付け、使用をしないこと

本製品は前向きにして自動車のシートに取り付けます。横向き、後ろ向きなど、本取扱説明書において指示していない向きにしてシートに取り付けてはいけません。

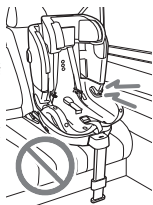


サポートレグの下や周囲に物を置かないこと

サポートレグは自動車の床面に接地させて使用します（ブースターモードを除く）。サポートレグの下に物を置かないでください。また、サポートレグが正しく機能しなくなるおそれがありますのでサポートレグの周囲、特にサポートレグの前に物を置かないようにしてください。

カバー類を取り外して使用しないこと

カバー類を取り外して使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できません。本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外した状態で使用しないでください。カバー類、ウレタンも安全に関わる重要な部品です。決して取り外して使用しないでください。また同様に、本製品に縫い付け、または貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。



EPP / EPS フォーム（白い衝撃緩衝材）を取り外さないこと

本製品の内部に取付けられている EPP / EPS フォームは、本製品の安全性に関わる重要な部品です。絶対に取り外さないでください。

指定以外の耐荷重点点を使用しないこと

本製品を取り付け、使用するにあたり、本書および本製品に表記されている耐荷重点点以外を使用しないでください。本製品の取り付け、使用にあたっては、必ず本書および本製品に表記されている指示に従ってください。

お子さまを自動車内に放置しないこと

本製品の使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、どれだけ短い時間でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、誤って自動車の操作をしたりシートベルトに絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じること
を示します。

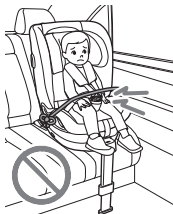
本製品の座席（シェル）は、後ろ向きまたは前向きのいずれかの向きで使用すること

本製品は、お子さまの乗せ降ろしのときや、後ろ向き、前向きの切り替えの際に、座席（シェル）を回転させることができます。実際に使用する場合は、座席（シェル）は、後ろ向きまたは前向きのいずれかの向きで、確実に固定しなければなりません。座席（シェル）を横に向けた状態では絶対に使用しないでください。



指定する方法以外でお子さまを固定しないこと

後ろ向き、前向きモードでは、お子さまは本製品のハーネスを装着します。ブースターモードでは、お子さまは自動車の3点式シートベルトを装着します。お子さまの固定のために、ひもや帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。またお子さまを正しく固定した上に、これらのもので補強してもいけません。ハーネスやシートベルトが正しく使用されていても、これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかったり、ハーネスやシートベルトに干渉するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



ハーネス、3点式シートベルトを正しく調節して装着すること

使用するモードに応じて、ハーネスまたは3点式シートベルトを正しく調節して、ねじれないことを確認して使用します。ハーネスまたはシートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通るように位置を調節して常にハーネスのバックルまたはシートベルトのバックルを留めておくようにしてください。

本製品の固定やお子さまの装着するベルト類にねじれやゆるみが生じないようにすること

使用するモードに関わらず、お子さまが装着するハーネスまたはシートベルトおよび本製品の取り付け、固定、使用に関わるベルト類にはねじれがないようにしてください。また、本書において締め付けるように指示されているベルト類にゆるみがないことを確認してご使用ください。

体型が合わない場合は使用しないこと

本製品では、お子さまの身長と体重、月齢により使用期間が定められていますが、正しい範囲内でもお子さまの体型、体格により、本製品や着衣を調節してもお子さまを正しく固定できない場合には、所定の安全性能を発揮できませんので使用しないでください。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

短距離、短時間の移動でもチャイルドシートを使用すること

多くの事故は、短距離、短時間の移動の際に発生しています。たとえ短い距離の移動でも、お車を使用する場合は、お子さまの安全のため本製品を正しく使用してください。

生後 15 ヶ月までは後ろ向きモードでのみ使用可能

お子さまが生後 15 ヶ月を超えるまでは、後ろ向きモードで使用してください。前向きモードや、ブースターモードにして使用しないでください。

⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用しないでください。また、本製品の部品が欠落したり紛失した場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能なくなっている可能性があります。このような場合は保証の対象外となり、また安全性が担保できないため修理もできませんので、新しい製品をご購入いただく必要があります。



使用しない場合でも、車室内では本製品を必ず固定しておくこと

お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には ISOFIX 固定装置で自動車の座席に固定するなどして適切な方法で固定しておいてください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



本製品に破損や異常がある場合や部品が欠落している場合、部品を取り外した状態では使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあり、また本製品の破損部により思わぬ事故につながるおそれがあります。



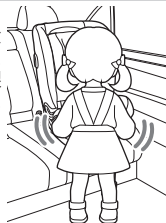


警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

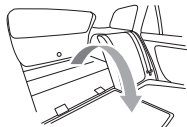
走行前には本製品の状態を確認すること

お子さまや他の乗員などが、本製品に触れたり操作したりするなどして本製品の状態が変化しているおそれがあります。走行前には必ず本製品が適切な状態にあるかどうか確認してください。製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。



可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席／トランクスルー）で本製品を使用する場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



走行中は、本製品を操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。お子さまの状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、お子さまの状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないでください。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品を正しく使用することにより自動車の座席にくぼみや傷が生じる可能性があります、あらかじめご了承ください。



警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

ハーネスのバックルまたはシートベルトのバックルが正しく留まっていること、ハーネスまたはシートベルトが正しい状態にあることを適宜確認すること

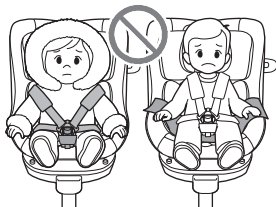
後ろ向きモード、前向きモードの場合には本製品のバックル、ブースターモードの場合にはシートベルトのバックルにお子さまが触れるとバックルが外れるおそれがあります。お子さまにはバックルに触れないように言い聞かせ、適宜バックルが正しく留まっていることを確認してください。また、お子さまの体動によりハーネスやシートベルトの装着状態に異常が生じていないかについて適宜確認するようにしてください。



不適切な着衣で使用しないこと

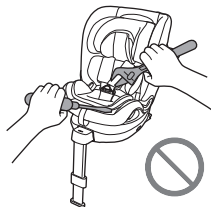
お子さまを正しく固定できず、お子さまが落下したり、飛び出したりするおそれがあります。ケープや毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、腕や足が出ない（ハーネスやシートベルトを正しく装着できない）構造の衣服、サイズの大きすぎる衣服などを着せて本製品を使用しないでください。また、ダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実にハーネスやシートベルトを装着できるよう、本製品を正しく調節してください。

また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下に敷かないでください。



チャイルドシートを分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の適合する規格、基準に関わる管轄当局の承認なしに本製品に変更を加えたり部品等を追加することは禁止されています。また、指定外の部品への交換、同梱されていないアクセサリや他社製の部品や製品を本製品に追加して取り付け使用しないでください。



警告

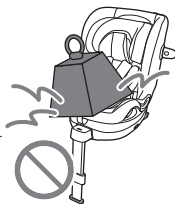
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

指定外のカバー類やソフトパッド、クッション類を使用しないこと

本製品のカバー類やソフトパッド類、衝撃緩衝材も本製品の安全性能を構成する重要な部品類です。本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、本製品に付属または当社が指定するカバー類やソフトパッド、クッション類以外のものを使用してはいけません。

過度の負担を掛けないこと

本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、自動車のドアや自動車の座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品に強い衝撃が加わったり損傷した場合、本製品を使用してはいけません。



中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品は過去の履歴や保管状況や使用状況が不明なため、また劣化した本製品は強度等が劣る可能性があり、本製品が安全に機能しないおそれがありますので使用しないでください。安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。

目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、チャイルドシート、ブースターシートとしてのみ使用することができます。椅子やベッド、ベビーキャリーとして使用するなど、本来の目的以外で使用すると、お子さまが落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。

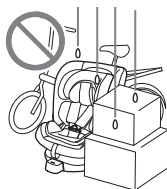


いかなる場合でも注油しないこと

本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。お手入れや操作をスムーズにするためなどの目的であっても、絶対に本製品に注油してはいけません。

不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。



⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

ISOFIX コネクターや ISOFIX 固定装置、3 点式シートベルトを清潔に保つこと

ISOFIX コネクターや ISOFIX 固定装置、3 点式シートベルトに、食べかすや汚れ、ほこりが付着しているとチャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがあります。これらを常に清潔に保つようにして必要に応じて正しくお手入れするようにしてください。

お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げないこと

お子さまがチャイルドシートから落下したり本製品が落下したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえハーネスでお子さまが正しく固定されていたとしてもお子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。

また、サポートレッグが突然開いてケガをするおそれがありますので、本製品を持つ場合にはサポートレッグが開かないようにサポートレッグに手を添えて持つようにしてください。

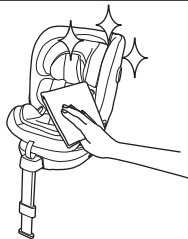


⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

車内の物品は固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。

長期間使用しない場合は自動車の座席から取り外してください

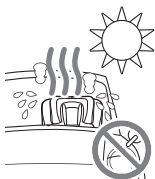
本製品を長期間使用しない場合は、自動車の座席に取り付けたままにせず座席から取り外して車外に出して適切に保管してください。

⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートの金属部品や樹脂部品が日光により過度に加熱していないか確認してからお子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、直射日光を避けて日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして過熱を防ぐようにしてください。



トランク内での保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合は本製品の上に他の物を載せないように注意してください。また、トランク内は高温になりますので長期間にわたるトランク内での本製品の保管は避けてください。

ハーネスなどベース以外の部分を持って本製品を持ち上げないこと

本製品を持ち上げる際にハーネスを持ったりソフトパッド、生地部分を掴むなどして持ち上げないでください。本製品が破損、落下するおそれがあります。

本製品を持つ場合はサポートレグを手で支えながらベース部分を持つようにしてください。



バックルやハーネスを自動車のドアやシートに挟まないよう注意すること

本製品のバックルやハーネスを自動車のドアやシートで挟まないように注意してください。また、バックルにほこりやゴミが付着したり入り込まないように、お子さまを乗せていない場合でも常にバックルを留めておくようにしてください。

長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレスや疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくために適宜お子さまをチャイルドシートから降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

また、安全運転のためにもなりますので最低でも1時間に1度は連続した休憩をとるようにしてください。

疑問点やご不明な点は、販売店またはチャイルドシートメーカーにお問い合わせください

補修やお手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客サービスにお問い合わせください。

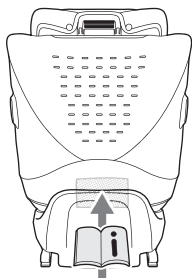
本取扱説明書は本製品の所定の場所に収納して常時携行してください

必要なときにいつでも参照できるように本取扱説明書はシェル背面のカバー（メッシュ部分）の内側にある、同じくメッシュ生地の袋状の部分に入れておいてください。袋状の部分は、メッシュ生地内に折り込んでおいてください。

ポイント！

シェルが前向き状態で固定されていると、取扱説明書ホルダーの取り出しができません。シェルを後ろ向きに回転させてから取扱説明書の出し入れを行ってください。

参照 P59-65 ▶シェルの回転

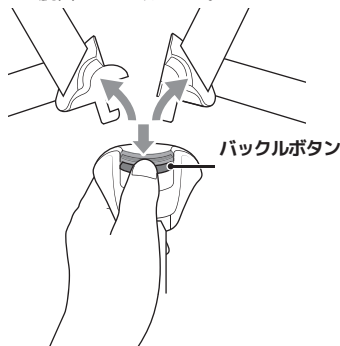


シェル背面の生地の内側袋状の部分に収納します

緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてず本製品のバックルボタンまたは自動車のシートバックルを操作して、ハーネスまたはシートベルトを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。その上で直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

お子さまの脱出の際に本製品のハーネスやシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルが機能しない場合は市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネスまたはシートベルトを切断してお子さまを車外に脱出させるか、後ろ向き、前向きモードで使用している場合は、本製品の ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定装置から外して本体ごと脱出させてください。



基本的な使いかた

ここでは、各モードに共通する本製品の基本的な使用方法について説明しています。実際にご使用になるには、お子さまの体重や体格、月齢に合わせてご使用ください。

⚠危険

適切な方法で使用する

不適切な使用は重大な事故につながります。本書に記載されているすべての事柄を理解して、本製品を正しく取り付け、お子さまの身長、体重、体格、月齢に応じた調節を行い、適切に使用してください。

サイドインパクトプロテクション (SIP) の使いかた

本製品には事故時などに生じる側面からの衝撃を緩和する安全機構のサイドインパクトプロテクション (SIP) が同梱されています。

SIP は、お子さまを乗せて使用する状態でシェルの自動車のドア側に取り付けてください。実際にご使用になる前に、SIP を取り付けてみて、ドアの開閉に干渉しないか、本製品のシェルを回転した際にドアや座席に干渉しないかを確認してください。SIP がドアにあたったり、干渉する場合は取り外して本製品を使用してください。

⚠注意

シェルの向きに注意してください

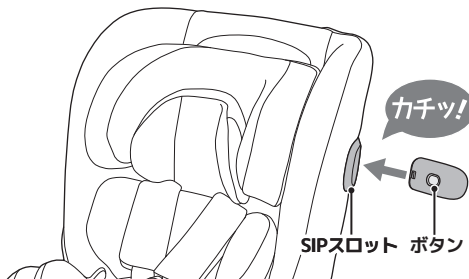
SIP は、お子さまを乗せて使用する状態で、自動車のドア側になるように取り付けます。本製品はシェルを回転させて後ろ向き、または前向きで使用するもので、本製品を使用するモードに応じて左右を確認して SIP を取り付けてください。

中央席側（他の乗員側）には取り付けしないでください

事故や衝撃を受けた際に、中央席側の乗員にサイドインパクトプロテクションがあたりケガをするおそれがあります。

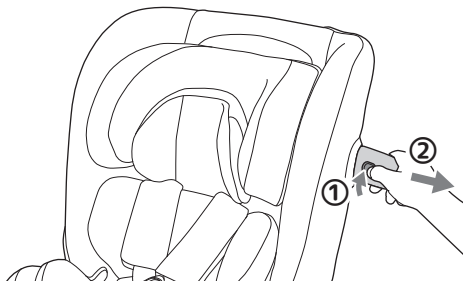
01

取り付けるには、SIP を取り付ける側の SIP スロットに、サイドインパクトプロテクションのボタンを手前側にして差し込みます（シートを前側から見た状態の手前側です）。「カチッ」と音がして、SIP が固定されたことを確認してください。



02

取り外すには、SIP のボタンを①押しながら、②引き抜きます。取り外した SIP はお子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。



バックルの使いかた

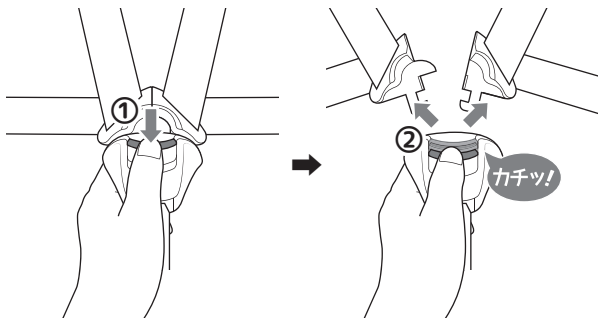
後ろ向きモード、前向きモードでは本製品のバックルを使用します。

ポイント!
バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないときや保管するときもバックルは常に留めておいてください。

バックルの外しかた

01

バックルを外すには、バックルを握って①バックルボタンを押し下げます。②「カチッ」と音がして、差込みタングが外れます。



⚠注意

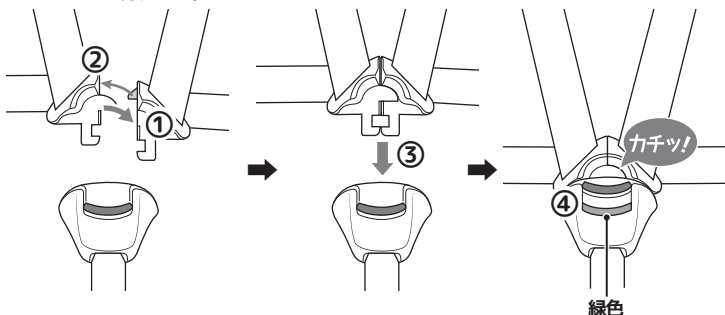
バックルは握って操作してください

直接バックルボタンを押下すると、お子さまの腹部を圧迫するおそれがあります。お子さまに負担のないようにバックルを握って操作してください。あらかじめハーネスを少しゆるめて操作すると、よりお子さまへの負担を減らすことができます。

バックルの留めかた

01

バックルを留めるには、①向かって左側の差込みタングを、右側の差込みタングに乗せるようにして、②右側の差込みタングの先端部の突起を左側の差込みタングに差し入れて重ねます。③そのまま受けバックルに差し込んで、④「カチッ」と音がするようにしてバックルを留めます。バックルが正しく留まると、バックルボタンの下に緑色のインジケーターが現れます。



⚠危険

必ずバックルの状態を確認すること

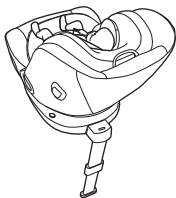
差込みタングが受けバックルにしっかりと差し込まれ、緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。お子さまが操作されてバックルが外れたりすることもありますので、本製品の使用中は適宜バックルの状態を確認してください。差込みタングを受けバックルに差し込んでも緑色のインジケーターが表示されない場合は、ご使用にならないでください。

02

軽く肩ベルトを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

インファントインサートの使いかた

インファントインサートは後ろ向きモードでのみ使用します。
身長 60cm までのお子さまには、インファントインサートを取り付けた状態でのご使用を強く推奨します。
前向きモードとブースターモードではインファントインサートを取り外してご使用ください



インファントインサートの外しかた

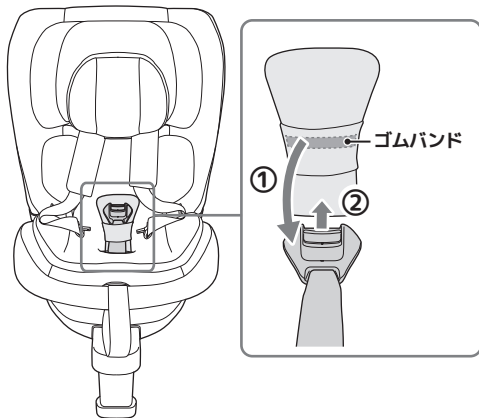
01

あらかじめバックルを外して、ハーネスをゆるめておきます。

参照 P37 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01

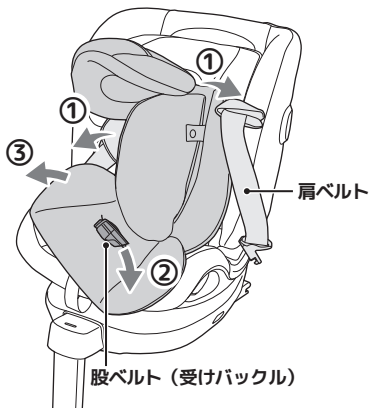
02

あらかじめバックルを外して、ハーネスをゆるめておきます。①股ベルトを内側で留めてあるゴムバンドを外して、②股ベルトパッドを抜き取ります。



03

①左右の肩ベルトをインファントインサートから抜き取り、②股ベルト（受けバックル）をインファントインサートの通し穴から抜いて、③インファントインサートを取り外します。

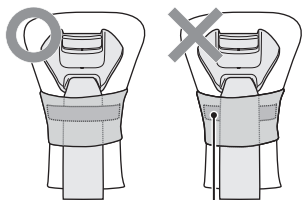


04

股ベルトパッドを股ベルト（受けバックル）に差し込んで取り付けます。股ベルトパッドのゴムバンドを股ベルトの上側にして取り付けます。股ベルトの下端部はシートカバーの中に押し込んでください。

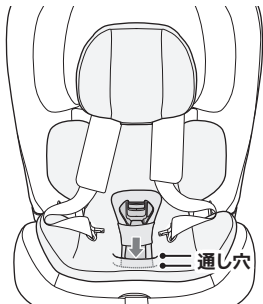
注意

ゴムバンドは股ベルトの上になるようにしてください



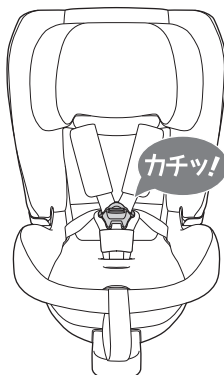
ゴムバンド

股ベルトパッドをしっかりと差し込んでください。インファントインサートを使用している場合、インファントインサートの股ベルトの通し穴とシートカバーの通し穴に股ベルトパッドの下端部をしっかりと押し込んでください。



05

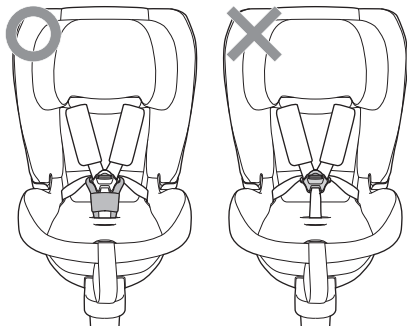
バックルを留めておきます。



⚠ 危険

必ず股ベルトパッドを取り付けること

後ろ向きモード、前向きモードで使用する場合、股ベルトパッドは必ず取り付けてください。



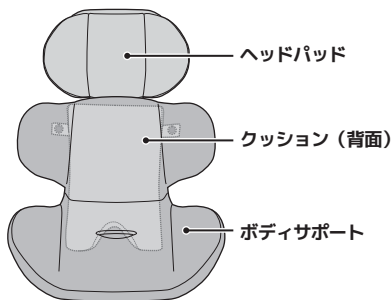
06

インファントインサートの取り付けは逆の手順で行います。

ハーネスを十分にゆるめて、インファントインサートが浮かないようにしっかりと奥に押し込むようにしてください。

インファントインサートの分解

インファントインサートはお手入れのために分解することができますが、ヘッドパッド、ボディサポート、クッションのみ、またはこれらの一部を組み合わせた状態では使用できません。



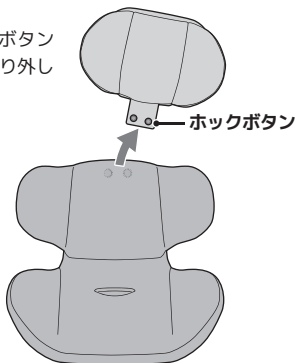
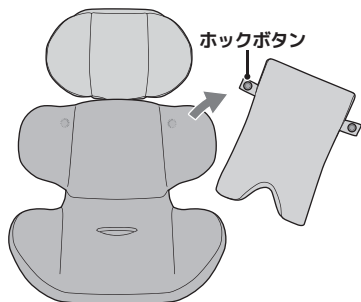
⚠ 警告

インファントインサートは正しく組み立てた状態で使用してください

お手入れ後は、インファントインサートを正しく組み立ててお使いください。ヘッドサポートのみ、ボディサポートのみ、クッションのみなど、インファントインサートの一部のみを取り付けて使用しないでください。

01

ヘッドパッドは、ボディサポートの裏側のホックボタン（2カ所）で固定されています。ホックボタンを取り外してヘッドパッドを取り外します。

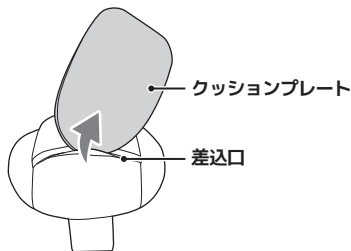


02

クッションは、ボディサポートの裏側のホックボタン（2カ所）で固定されています。ホックボタンを取り外してクッションを取り外します。

03

ヘッドパッドには、クッションプレートが内蔵されています。クッションプレートは洗濯できませんので、お手入れの際にはクッションプレートを取り外してください。ヘッドパッドの裏側にある差込口からクッションプレートを取り出します。クッションプレートを取り付ける場合は、クッションプレートの樹脂面を差込口側、ウレタン面を表側にして差込んでください。



ポイント!

クッションとクッションプレートは洗濯できません。

⚠注意

クッションプレートを傷つけないように注意してください

クッションプレートの取り外し、取り付けはクッションプレートを傷つけないようゆっくりと慎重に行ってください。

04

組み立ては逆の手順で行います。

肩ベルト（ハーネス）の長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じて肩ベルト（ハーネス）の長さを調節します。

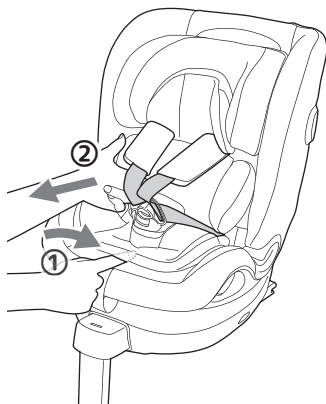
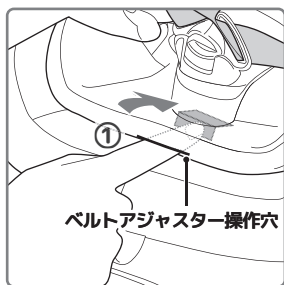
⚠危険

肩ベルト（ハーネス）の長さは適切に調節すること

肩ベルト（ハーネス）は必ず適切な長さに調節してください。肩ベルトが締められすぎていたり、ゆるんでいたりすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

01

肩ベルトをゆるめるには、①シート前端のベルトアジャスター（穴の中にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、②肩ベルトを持って、ゆっくりと手前に引き出します。肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができませんのでご注意ください。



👉ポイント!

インファントインサートを使用している場合、ベルトアジャスター操作穴（切れ込み）はボディサポートの前端部に隠れています。ボディサポートの前端部を軽くめくり、操作穴に指を差し入れてください。

ベルトアジャスターは、ベルトアジャスター操作穴の中にあります。外側から見ることはできません。

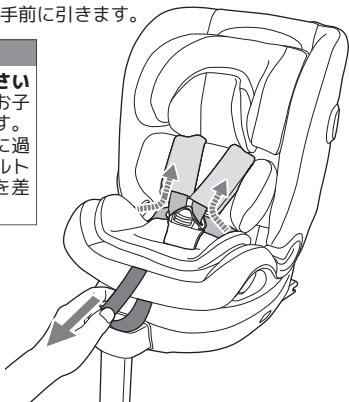
肩ベルトを持って引き出してください。肩ベルトパッドは専用のベルトに固定されていますので、肩ベルトパッドを持つと肩ベルトを引き出すことができません。

02

肩ベルトを締めるには、アジャストベルトを手前に引きます。

⚠注意

アジャストベルトはゆっくりと引いてください
勢いよく強くアジャストベルトを引くと、お子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。またハーネスが締めすぎると、お子さまに過剰な負担が掛かるおそれがあります。肩ベルトは、お子さまとの間に大人の方の手のひらを差し込める程度に締め付けてください。

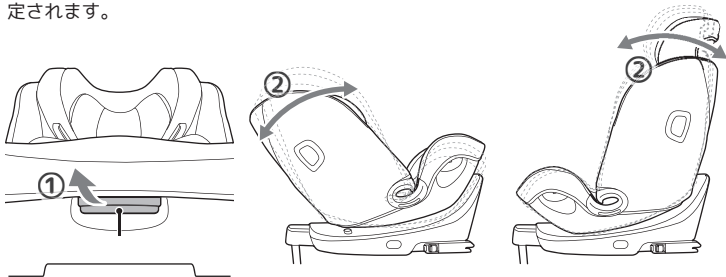


リクライニングの使いかた

リクライニングを調節することにより、シェルの背もたれの角度を変更することができます。すべてのモードで5段階に調節して使用することができます。

01

①シェル前端部のリクライニングレバーを引き上げて、②シェルの角度を5段階で調節します。目的の角度でリクライニングレバーから手を放すとシェルの背もたれが固定されます。



⚠注意

角度に注意してください

お子さまの姿勢にご注意ください。首がしっかりとすわっていない間は、お子さまの頭部が傾かないよう、極端にシートの背もたれを立てないようにしてください。

ヘッドサポートの高さ調節

ヘッドサポートと肩ベルトの高さ調節は連動しています。

ヘッドサポートの高さを調節することにより、後ろ向きモードと前向きモードではハーネスの肩ベルトの高さ、ブースターモードでは3点式シートベルトの肩ベルトガイドの高さが調節されます。

後ろ向きモードと前向きモード、ブースターモードでは、適切な肩ベルトの高さが異なりますのでご注意ください。お子さまの成長に合わせて、肩ベルトの高さを適切に調節してください。

⚠危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは、使用するモードおよびお子さまの体格や月齢に合わせて、必ず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

参照 P75 ▶お子さまの乗せかたと降ろしかた▶ 06

参照 P85 ▶乗せかた▶ 04

01

後ろ向きモード、前向きモードの場合、あらかじめハーネスをゆるめておきます。

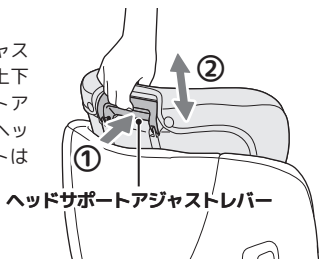
参照 P37 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01

👉ポイント!

ハーネスが短い状態で調節されているとヘッドサポートが上方向に動かしにくくなります。

02

ヘッドサポート上端の①ヘッドサポートアジャストレバーを引き上げて、②ヘッドサポートを上下に調節します。目的の高さでヘッドサポートアジャストレバーから手を離すと、その高さでヘッドサポートが固定されます。ヘッドサポートは14段階で調節することができます。

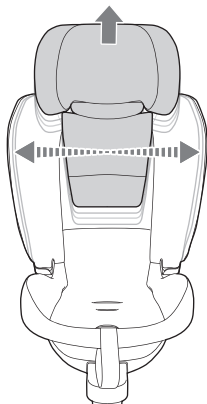


03

お子さまの成長に応じてより快適で安全に使用できるよう、本製品ではヘッドサポートを高く調節すると 11 段階から 14 段階にかけて、シェルの肩の部分が外側に広がる構造になっています。

04

ヘッドサポートを軽く上下に動かして、目的の高さでしっかりと固定されていることを確認してください。



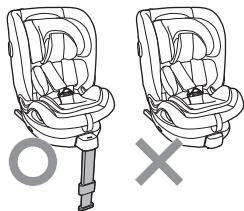
サポートレッグ

本製品を、後ろ向きモード、前向きモード（チャイルドシート）で使用する場合は、必ずサポートレッグを開いて、自動車の床面に正しく接地させる必要があります。

⚠危険

サポートレッグを必ず開いて使用すること

本製品は、ブースターモードでの使用時のため、サポートレッグをベース内に収納することができる構造になっていますが、後ろ向きモード、前向きモード（チャイルドシート）で使用する場合は、絶対にサポートレッグを収納した状態では使用しないでください。サポートレッグを開き、正しく床面に接地させる必要があります。例えば ISOFIX 固定装置に正しく固定されていたとしても、サポートレッグが正しく使用されていないと大変に危険です。



前向きモード・後ろ向きモードの場合

👉ポイント!

ブースターモードでは、サポートレッグはベースに収納します。

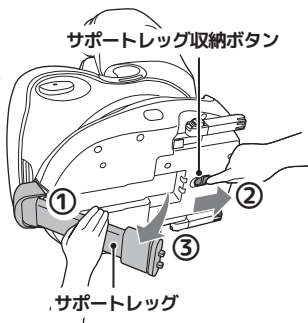
01

サポートレッグを開くには、①片手でサポートレッグを支えながら、②サポートレッグ収納ボタンを下図の方向に引くと、③サポートレッグが自動的に開きます。

⚠注意

開くサポートレッグに注意してください

サポートレッグ収納ボタンを引くと、サポートレッグが勢い良く開きます。ケガにつながるおそれがありますので、片手でサポートレッグを支えてサポートレッグ収納ボタンを引くようにしてください。



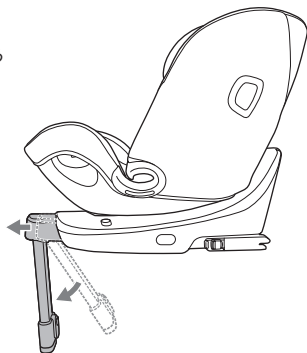
02

サポートレッグインジケーター部を引き出すようにして、サポートレッグを開きます。

⚠注意

サポートレッグに注意してください

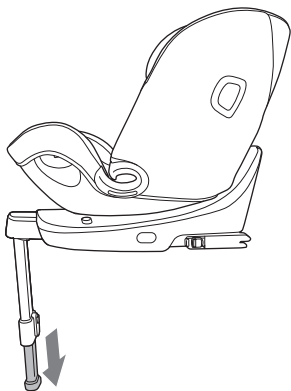
サポートレッグは開いた状態で固定されません。軽く押すとサポートレッグはベース内に戻りますので、手や指を挟まないように注意してください。



03

後ろ向きモード、前向きモードで使用する場合はサポートレッグを自動車の床面に正しく接地させる必要があります。

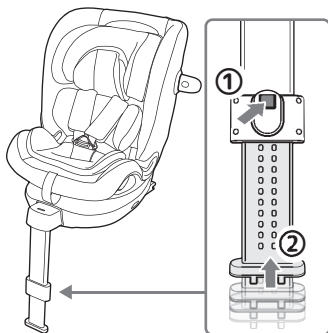
サポートレッグを引き出すには、サポートレッグの先端部を軽く下に引いてください。



04

サポートレッグを短くするには、サポートレッグ裏側の①サポートレッグアジャストボタンを押しながら、②サポートレッグを短くします。

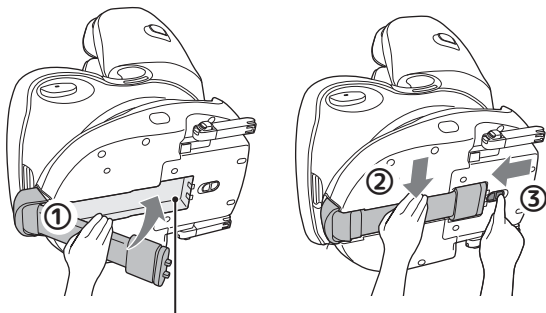
本製品の取り付け時にベースが座席座面から浮いた状態になった場合や、サポートレッグをベース内に収納する際にサポートレッグを短くします。



サポートレッグアジャストボタン

05

ブースターモードで使用する場合は、サポートレッグをベースに収納します。サポートレッグを最も短い状態にして、①サポートレッグを収納スペースに入るようにたたみ、②そのまま手で押さえながら、③サポートレッグが固定されるまで、サポートレッグ収納ボタンを下図の方向に引きます。

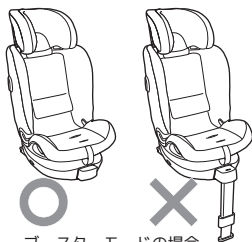


収納スペース

⚠ 警告

ブースターモードの場合は、サポートレッグを収納すること

ブースターモードではサポートレッグを使用しません。サポートレッグをベース内に収納してご使用ください。



ブースターモードの場合

👉 ポイント!

前向きモード、後ろ向きモード（チャイルドシート）では、サポートレッグを使用します。

本製品の ISOFIX による取り付け、取り外し

本製品はシェルが回転することにより、後ろ向き（後ろ向きモード）または前向き（前向きモードおよびブースターモード）に切り替えて使用することができます。

自動車の座席への取り付けは、後ろ向き、前向き、どちらの状態でも可能です。ここではシェルを後ろ向きの状態にしての取り付けを図示していますが、前向きの状態にしての取り付け方法も基本的には同じです。

⚠ 警告

本製品の ISOFIX による取り付け後、ブースターモードではお子さまの乗せ降ろしを目的としてシェルを回転させないでください

ブースターモードでの使用時にシェルを回転させると、お子さまが3点式シートベルトに絡むおそれがあります。

👉 ポイント!

シェルの回転については、以下を参照してください。

参照 P59-65 ▶シェルの回転

⚠ 警告

お子さまを近づけないようにして作業すること

安全のため、取り付け、取り外しの作業中は、お子さまを近づけないようにしてください。

⚠ 注意

お子さまを乗せた状態で取り付け、取り外しをしないこと

本製品が落下したり思わぬ動きをして事故につながるおそれがあります。

座席に取り付け痕およびキズがつくことがあります

本製品を正しく取り付けることにより、自動車の座席の表面に取り付け痕が残ったり、キズが発生する事があります。あらかじめご了承ください。

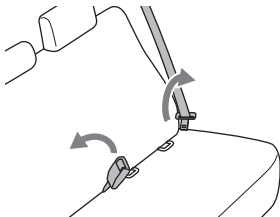
お子さまを乗せていない状態でも本製品を正しく座席に固定すること

本製品は、お子さまを乗せていない状態でも本書の指示に従い、常に正しく座席に取り付けて固定しておいてください。

取り付けかた

01

本製品を取り付ける座席のシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



👉 ポイント!

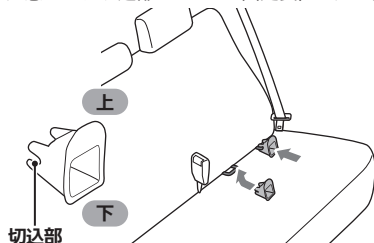
ISOFIX 固定装置は、座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると ISOFIX 固定装置が見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また車種によっては、ISOFIX 固定装置にカバーが掛けられている場合がありますので、お車の取扱説明書をご確認ください。

02

ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定装置に差し込みます。

ISOFIX ガイドにより、ISOFIX コネクターの取り付けがしやすくなります。

ISOFIX ガイドには左右はありませんが、上下がありますので上下を間違わないように注意して、切込部を ISOFIX 固定装置に差し込むようにして取り付けてください。



👉 ポイント!

車種によっては、ISOFIX ガイドに類するカバーが取り付けられているなど、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISOFIX 固定装置の周囲の座席の生地に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

03

本製品のシェルが後ろ向き、または前向きのいずれかで固定されていることを確認してください。

参照 P59-65 ▶シェルの回転



シェルは前向きまたは後ろ向きのいずれかで固定すること

本製品のシェルは所定の操作により回転させることができます。シェルは前向きまたは後ろ向きの状態でのみ固定されます。シェルが横や斜めに向いた状態で本製品を持つとシェルが突然回転して指や手をはさむなどしてケガをするおそれがあります。前向き、後ろ向きのどちらの向きの状態で取り付けても、所定の操作を行うことによってシェルは回転させることができます。

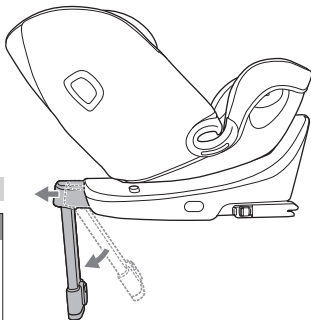
04

前向きモード、または後ろ向きモードで使用する場合は、サポートレッグを完全に開きます。ただし、ブースターモードで使用する場合は、サポートレッグはベースに収納しておいてください。

参照 P42 ▶サポートレッグ▶ 05



サポートレッグは完全には固定されていません
サポートレッグを開いてシェルを持ち上げると、先端部が下に引き出されることがありますのでご注意ください。



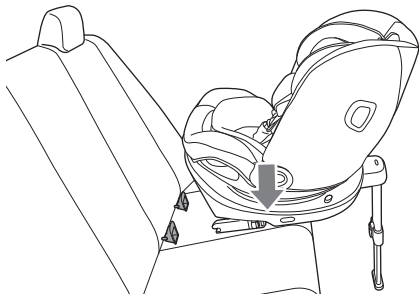
ポイント!

以下の操作でサポートレッグを短くする必要がある場合は、以下を参照してサポートレッグを短くしておいてください。

参照 P42 ▶サポートレッグ▶ 04

05

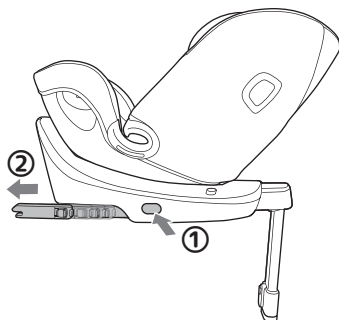
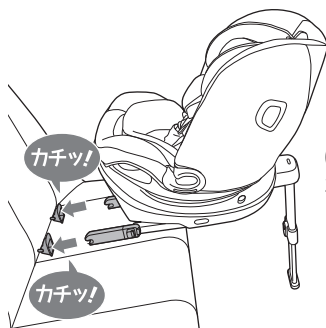
本製品を座席座面に乗せます。



06

- ① ISOFIX アジャスターボタンを押し込んで、
- ② ISOFIX コネクターを最後まで引き出しておきます。

ISOFIX コネクターは左右連動しているの、いずれか一方を引き出すと、左右とも引き出されます。



07

左右の ISOFIX コネクターをそれぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。

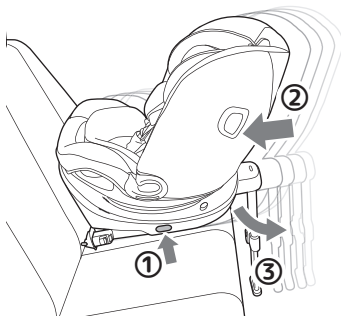
カチッと音がして座席の ISOFIX 固定装置に固定されるまでしっかりと差し込んでください。

ポイント!

座席の生地によっては摩擦により ISOFIX コネクターが本体側に押し戻されることがあります。その場合 ISOFIX コネクターを少し浮かせた状態にして差し込んでください。

08

- ① ISOFIX アジャスターボタンを押し込んだまま、②本製品を自動車の座席の背もたれに接するまで押します。しっかりと奥まで押し込んで、ISOFIX アジャスターボタンから指を離します。③サポートレッグのインジケーター部がベースの中に戻されている場合は、引き出して、サポートレッグをしっかりと開いてください。



09

後ろ向きモードまたは前向きモードの場合、サポートレッグが座席に干渉するなど、本製品を自動車の座席の背もたれに押し付けすぎた場合は ISOFIX アジャスターボタンを押し込んで本製品を手前に引き出して調節してください。この際手前に引き出しすぎないように注意してください。また、サポートレッグインジケーターがベース内に戻されている場合は 08 の③の操作をして、サポートレッグを引き出してしっかりと開いておいてください。

ポイント!

前向きモードおよびブースターモードでの使用時、本製品を座席の背もたれに押し付けた際に自動車の座席のヘッドレストと、本製品のヘッドサポートが干渉する場合は、ヘッドレストの角度や高さを調節するかヘッドレストを取り外してください。ヘッドレストを取り外した場合はそのまま車内に放置せずトランクの中など安全な場所に収納してください。

警告

無理に押し込まないこと

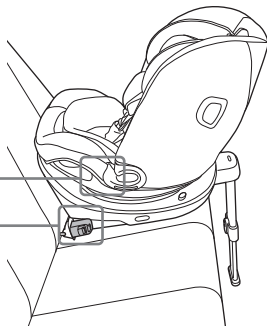
サポートレッグが座席座面先端に極端に強く押し付けられるとベースが座席座面から浮いたり、サポートレッグが正常に機能しなくなったりするおそれがあります。



10

左右の ISOFIX インジケーターが両方とも緑色になっていることを確認します。必ず左右両方とも確認してください。

左右いずれか一方でも緑色になっていない場合はもう一度操作をやりなおしてください。



⚠危険

ISOFIX コネクターは確実に固定すること

ISOFIX コネクターが確実に ISOFIX 固定装置に取り付けられていないと、事故や衝撃を受けた際に本製品が自動車の座席から外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

左右の ISOFIX インジケーターのいずれか一方でも緑色になっていない場合は本製品は正しく取り付けられていない状態ですので両方の ISOFIX インジケーターが緑色になるよう取り付け直してください。

👉ポイント!

ISOFIX インジケーターを確認するため、明るい場所で作業するか懐中電灯で照らすなどしてください。

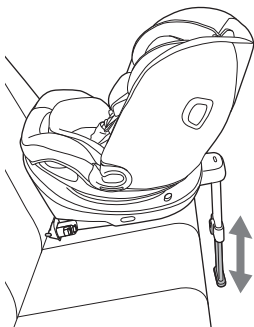
11

ISOFIX インジケーターが緑色になっていることが確認できたら、本製品を前後に動かしてしっかりと固定されていることを確認してください。

12 ▶前向きモード・後ろ向きモードの場合のみ

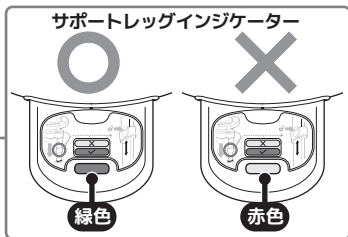
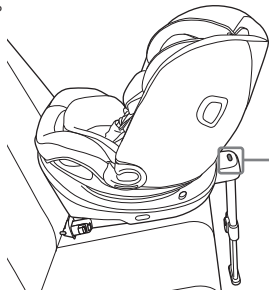
サポートレッグアジャストボタンを操作してサポートレッグの先端が床面に接するように調節します。サポートレッグを長くしすぎてベース底面の先端（サポートレッグ側）が座席座面から浮き上がらないようにご注意ください。

参照 P42 ▶サポートレッグ▶04



13 ▶前向きモード・後ろ向きモードの場合のみ

ベース先端部のサポートレッグインジケーターの窓の中が完全に緑色になっていることを確認します。完全に緑色になっていない場合はサポートレッグが正しく床面に接していません。サポートレッグインジケーターが緑色になるようにサポートレッグを調節してください。



ポイント!

サポートレッグの先端が床面に接地しているにも関わらずサポートレッグインジケーターが完全に緑色にならない場合は、本製品の先端部を少しだけ持ち上げてサポートレッグアジャストボタンを操作してみてください。

危険

サポートレッグインジケーターが赤色の状態では使用しないこと

サポートレッグが完全に床面に接地するとサポートレッグインジケーターは緑色になります。赤色の場合はサポートレッグが完全には接地していませんので、サポートレッグを調節してサポートレッグインジケーターが緑色になるようにしてください。

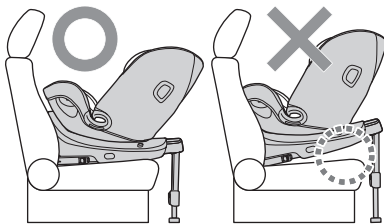
サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと

サポートレッグは安全上大変重要な部品です。サポートレッグは自動車の床面の平面部に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますのでサポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。

警告

ベースを座面から極端に浮かせないこと

サポートレッグを調節する際にベースの底面が座面から極端に浮かないようにしてください。ベースの底面が極端に浮いていると、サポートレッグインジケーターが緑色になっていても、本製品が安全に機能しないおそれがあります。ベースの底面が座面に、サポートレッグの先端が床面にそれぞれ接している状態にしてご使用ください。



注意

お子さまを乗せていない場合でもサポートレッグは常に正しい状態にしておくこと

お子さまを乗せていない場合でも、本製品を正しく自動車の座席に取り付けて、サポートレッグの先端は常に床面に接した状態にしておいてください。

14

念のため、もう一度ベースを手前に引いて ISOFIX コネクターがしっかりと ISOFIX 固定装置に固定されていることを確認してください。

15

サイドインパクトプロテクションがドアに干渉しないことを確認します。

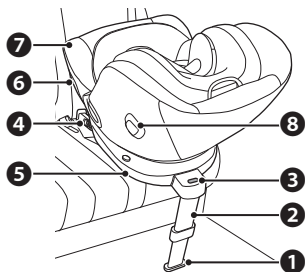
参照 P30-31 ▶サイドインパクトプロテクション (SIP) の使いかた

16

以下のチェックリストを参照して、正しい状態になっていることを確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。

ポイント!

図はシェルを後ろ向きにして取り付けた場合を示していますが、シェルを前向きにして取り付けた場合でもチェック項目は同様です。



チェックリスト

※①～③は、後ろ向きモード・前向きモードのみ

- ① サポートレッグの先端が床面に接していること。
サポートレッグの接する床面が平らで安定していること。
サポートレッグの下や周囲に物品が置かれていないこと。
 - ② サポートレッグが完全に開かれていること。
 - ③ サポートレッグインジケーターが緑色になっていること。
 - ④ ISOFIX コネクターが ISOFIX 固定装置に固定され、ISOFIX インジケーターが左右とも緑色になっていること。
 - ⑤ 本製品の底面が座席座面から極端に浮いていないこと。
 - ⑥ シェルが使用するモードに応じて、後ろ向きまたは前向きで固定され、左右の回転レバーの回転インジケーターが両方とも緑色になっていること。
- 参照 P63 ▶後ろ向きから前向きへの回転▶ 04
- 参照 P64 ▶前向きから後ろ向きへの回転▶ 02
- ⑦ 本製品がしっかりと座席背もたれ側に押し込まれていて ISOFIX コネクターがしっかりと奥まで押し込まれていること。
 - ⑧ サイドインパクトプロテクションはドア側に取り付けること。他の乗員側（中央席側）には取り付けないこと。

取り外しかた

あらかじめ、シェルを後ろ向き、または前向きで固定してください。

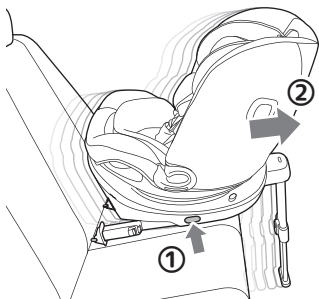
⚠注意

シェルは後ろ向き、または前向きのいずれかで固定すること

本製品のシェルは所定の操作により回転させることができます。シェルは後ろ向き、または前向きの状態でのみ固定されます。シェルが横や斜めに向いた状態で本製品を操作するとシェルが突然回転して指や手をはさむなどしてケガをするおそれがあります。

01

① ISOFIX アジャスターボタンを押し込んで、②ベースまたはシェルを手前側に引き出します。最後まで引き出してください。

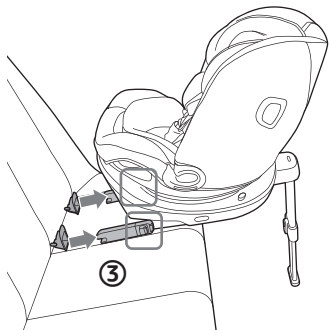
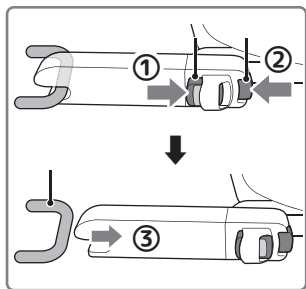


02

ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定装置から取り外します。

左右の ISOFIX コネクターを同時に操作してください。

ISOFIX コネクターはダブルロック構造になっています。①のリリースボタンを押しながら同時に、②のリリースボタンを押して ISOFIX コネクターのロックを解除してベースまたはシェルを手前に引いて、③ ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定装置から抜きます。



ポイント!

ISOFIX コネクターを左右同時に操作しながらシェルまたはベースを手前に引いて取り外します。手前に引かないと ISOFIX コネクターが再度ロックされてしまいます。

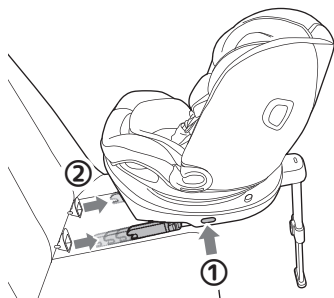
03

ISOFIX コネクターを外してもこれ以降の操作ができない場合、ISOFIX コネクターの片側だけが外れている可能性があります。

このような場合、一旦本製品を座席背もたれ側に押し込んで再度両方の ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定装置に固定してから、操作しなおしてください。

04

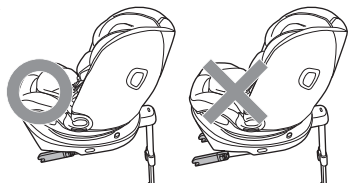
- ① ISOFIX アジャスターボタンを押し込んで、
- ② ISOFIX コネクターをベース内に収納します。最後まで収納してください。



⚠注意

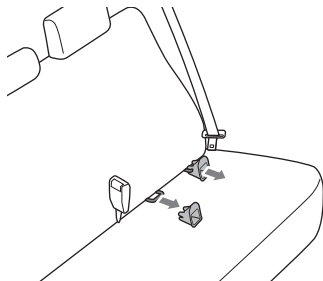
ISOFIX コネクターをベース内に完全に収納しておくこと

本製品の破損やケガを防ぐために、本製品を自動車の座席から取り外した場合、ISOFIX コネクターはベースに収納するようにしておきます。



05

ISOFIX ガイドを取り外します。ISOFIX ガイドをなくさないよう、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。座席のヘッドレストを取り外した場合は、座席に取り付けなおしてください。



⚠ 注意

ISOFIX ガイドは取り外しておくこと

ISOFIX ガイドの紛失や破損、また乗員のケガの原因になります。ISOFIX ガイドは、必ず座席から取り外した上、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

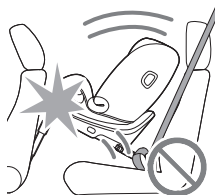
07

本製品を自動車から取り出します。

⚠ 警告

本製品を座席から取り外したら必ず車外に出しておくこと

本製品を座席から取り外した状態で車内に置かないでください。本製品が正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動して運転操作の邪魔になったり、他の乗員にあたるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



08

サポートレッグを短くして、ベース側に折りたたんでおきます。

3 点式シートベルトのみで使用する場合の設置

本製品はブースターモードでの使用時に限り、ISOFIX 固定装置を使用せずに自動車の 3 点式シートベルトのみで使用することができます。

なお、ブースターモードでも ISOFIX 固定装置を使用して座席に固定した上で、お子さまに 3 点式シートベルトを装着して使用することもできます。

ISOFIX 固定装置を使用する場合も、ブースターモードの場合はサポートレッグを使用しませんので、ベース内に収納しておいてください。

👉 ポイント!

ここでは、3 点式シートベルトのみで使用する場合を説明しています。ISOFIX 固定装置を使用する場合は、「本製品の ISOFIX による取り付け、取り外し」を参照してください。

参照 P43-53 ▶本製品の ISOFIX による取り付け、取り外し

⚠ 危険

3 点式シートベルトのみでの使用はブースターモードに限りです

後ろ向きモード、前向きモードの場合は 3 点式シートベルトによる固定はできません。

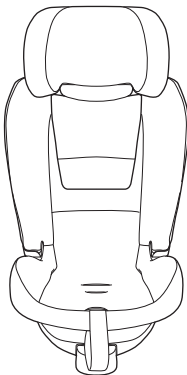
01

あらかじめ本製品を「ブースターモードへの切り替えかた」を参照してブースターモードに切り替えておきます。

シェルは前向きにして固定しておいてください。

参照 P65-70 ▶ブースターモードへの切り替えかた

参照 P59-65 ▶シェルの回転



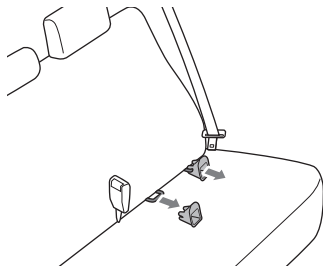
ブースターモードでの使用中はシェルを回転させないでください

3点式シートベルトが本製品の肩ベルトガイドを通っている状態でシェルを回転させると、シート肩ベルトが干渉して思わぬ動きをするおそれがあり、お子さまが乗っている場合には思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブースターモードでシェルを回転させたい場合は、お子さまを降ろしてシート肩ベルトを本製品の肩ベルトガイドから抜き取り、安全を確認しながらシェルを回転させてください。

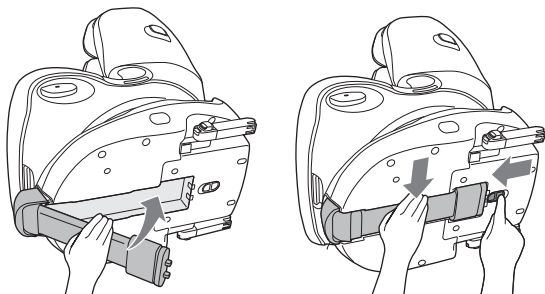
02

ISOFIX ガイドが ISOFIX 固定装置に取り付けられている場合は外しておきます。取り外した ISOFIX ガイドはなくさないよう、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。



03

サポートレッグが開いている場合は、ベースに収納しておきます。



04

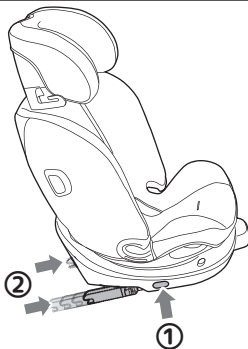
ISOFIX コネクターをベースに収納しておきます。

① ISOFIX アジャスターボタンを押し込んで、② ISOFIX コネクターをベース内に収納します。最後まで収納してください。

⚠危険

ISOFIX コネクターは必ずベース内に最後まで収納してください

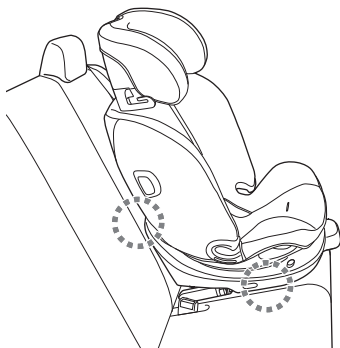
ISOFIX コネクターが座席背もたれに干渉して本製品が所定の安全性能を発揮することができません。3 点式シートベルトのみで使用する場合は、ISOFIX コネクターをベース内の一番奥まで収納しておいてください。



05

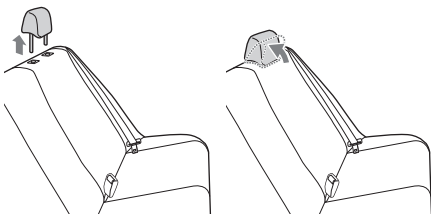
本製品を設置する座席の左右中央に本製品を前向きにして置きます。

①本製品の底面が座席座面に、②背部が背もたれにそれぞれ接するようにしてください



ポイント!

ヘッドサポートを高く調節した際に、自動車の座席のヘッドレストが干渉する場合は、ヘッドレストの角度や高さを調節するかヘッドレストを取り外してください。ヘッドレストを取り外した場合はそのまま車内に放置せずトランクの中など安全な場所に収納してください。



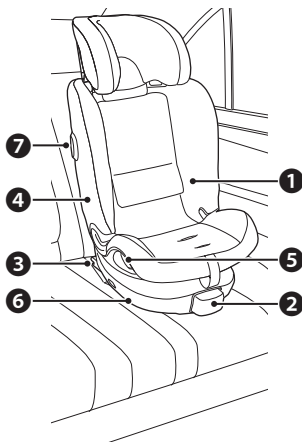
08

サイドインパクトプロテクションがドアに干渉しないことを確認します。

参照 P30-31 ▶サイドインパクトプロテクション (SIP) の使いかた

09

以下のチェックリストを参照して、正しい状態になっていることを確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



チェックリスト

- ① ハーネス、股ベルトがシェル内部に収納され、正しくブースターモードに切り替えられていること。
- ② サポートレッグがベース内に収納されていること
- ③ ISOFIX コネクターがベース内に完全に収納されていること。
- ④ 本製品が座席の左右中央に設置され、しっかりと座席背もたれ側に押し込まれていること。
- ⑤ シェルが前向きで固定され、左右の回転レバーの回転インジケーターが両方とも緑色になっていること。
- ⑥ 本製品の底面が座席座面から極端に浮いていないこと。
- ⑦ サイドインパクトプロテクションはドア側に取り付けること。他の乗員側（中央席側）には取り付けないこと。

ポイント!

お子さまが 3 点式シートベルトを装着していない状態では、本製品は自動車の座席に固定されていませんので、取り扱いにはご注意ください。

また、シェルの回転機能は使用しないようにしてください。

10

使用後は自動車座席から外して車外に出しておきます。

シェルの回転

本製品はシェルが回転することにより自動車の進行方向に対して後ろ向き、または前向きに切り替えて使用することができます。

また、後ろ向きモードまたは前向きモードでご使用の場合には、お子さまの乗せ降ろしの際にシェルの回転させるとよりスムーズに乗せ降ろしができます。

ブースターモードでご使用の場合、3点式シートベルトが干渉しますのでシェルは回転させないでください。

また、後ろ向きから前向き、前向きから後ろ向きの操作手順は、安全のため一部異なりますのでご注意ください。

ポイント!

シェルは、左右どちらの方向にも回転させることができます。

⚠危険

シェルは安全を確認してゆっくりと回転させること

お子さまがシートベルトに引っかかったり、お子さまの手足が座席と本製品の間に挟まれている状態になると思わぬ事故につながるおそれがあります。また、サイドインパクトプロテクションがシートやドアに引っかかって破損するおそれがあります。ケガをするおそれがありますので、シェルの回転させる際には安全を確認してゆっくりと回すようにしてください。



前向きでの使用には制限があります

前向きでの使用するためには、お子さまが所定の条件を満たす必要があります。以下を参照して正しくお使いください。

参照 P12 ▶使用できるお子さまの条件▶前向きモード（チャイルドシート）

シェルは向きを決めて固定して使用すること

本製品はお子さまの乗せ降ろしのときや、前向き、後ろ向きの切り替えの際に座席（シェル）を回転させることができます。

実際に使用される場合は、お子さまの身長、体重、月齢に応じて座席（シェル）を、前向き、後ろ向きいずれかの向きで確実に固定しなければなりません。座席（シェル）を横や斜めに向けた状態では絶対に使用しないでください。



⚠ 警告

走行中はシェルを回転させないこと

走行中にシェルを回転させると思わぬ事故につながるおそれがあります。シェルの回転は安全な場所に自動車を停めた状態で行ってください。

可動部に手指を置かないこと

お子さまや操作をされる方、または第三者がシェルの回転時に手や指を挟むおそれがあります。回転操作する際はお子さまの安全だけではなく、回転操作する方も安全を確認して可動部分に手を置いたり指を差し入れたりしないようにして操作してください。



⚠ 注意

ブースターモードでは原則としてシェルを回転させないでください

3点式シートベルトが本製品の肩ベルトガイドを通っている状態でシェルを回転させるとシート肩ベルトが干渉して思わぬ動きをするおそれがあり、お子さまが乗っている場合には思わぬ事故につながるおそれがあります。ブースターモードでシェルを回転させたい場合は、お子さまを降ろしてシート肩ベルトを本製品の肩ベルトガイドから抜き取り、安全を確認しながらシェルを回転させてください。

回転操作は本製品を座席に取り付けてから行うこと

シェルの回転操作は本製品を座席に固定した状態で行います。固定されていないとシェルが思わぬ動きをすることがあります。

回転操作は注意して行ってください

操作する方やお子さまが、手足を挟んだりシートベルトにからむなどしてケガをするおそれがあります。回転操作は安全を確認して慎重に行ってください。

持ち上げや持ち運びの際に回転レバーにご注意ください

回転レバーを押し上げると、シェルとベースの固定が解除されます。このため、回転レバーに手を掛けてシェルを持ち上げると、ベースが回転してケガをするおそれがあります。本製品を持ち上げる際や持ち運ぶ際は、シェルを後ろ向きまたは前向きで固定した上、ベースをしっかりと持つようにしてください。

シェルは常に固定しておくこと

お子さまが乗っていない場合でも、シェルは後ろ向き、前向きのいずれかの向きで固定しておいてください。自動車の走行中にシェルが動くと思わぬ事故につながるおそれがあります。

無理に回転させないこと

座席やドア、車内の構造物に干渉して回転できない場合は無理に回転させないでください。座席やドア、車内の構造物に傷がついたり本製品が破損するおそれがあります。

自動車の座席の調整

本製品を正しく取り付けけた状態でスムーズにシェルを回転できるかをあらかじめ確認します。

シェルの回転時に座席の背もたれやヘッドレストとシェルが干渉する場合があります。その場合は以下のように対応してください。

スムーズに回転する場合には以下の操作は必要ありません。

ヘッドレストと干渉する場合

座席のヘッドレストの高さを調節するか、または取り外してください。

この場合、取り外したヘッドレストはそのまま車内に置かず必ず自動車のトランクなど安全な場所で保管するようにしてください。

ヘッドレストが外せない、または調節できない場合 座席の背もたれと干渉する場合

ISOFIX コネクターを操作して本製品を座席の背もたれから少し離してからシェルを回転させてください。

回転後は必ず ISOFIX アジャスターボタンを操作して本製品を背もたれに押し込んでください。

参照 P51 ▶取り外しかた▶ 01 ※最後まで引き出す必要はありません

参照 P46 ▶取り付けかた▶ 08

ポイント!

この操作を繰り返すと座席座面に傷をつけるおそれがあります。あらかじめご了承ください。

注意

コンソールに干渉する場合は、回転機構は使用できません

座席の左右にコンソールや肘置きがあり、回転時にシェルが干渉、接触する座席で本製品の回転機構は使用しないでください。

後ろ向きから前向きへの回転

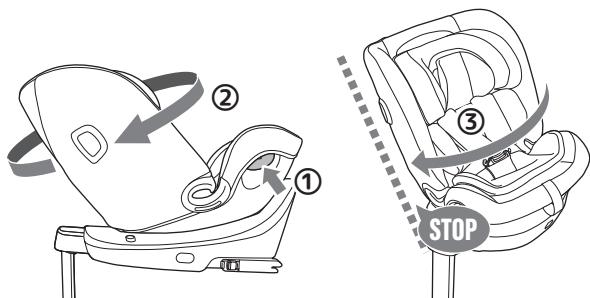
危険

生後 15 ヶ月までは後ろ向きモードでのみ使用可能

シェルを後ろ向きから前向きに回転させる場合に、途中で回転がストップするのは安全のためです。前向きでの使用は生後 15 ヶ月を超えてかつ身長が 76cm 以上になってからとなります。誤ってシェルを前向きにしないように、後ろ向きから前向きへの回転時にのみ、途中で回転がストップする構造になっています。

01

シェル側面の左右いずれかの①回転レバーを押上げて、②シェルの回転させます。後ろ向きから前向きへの回転の場合、③途中で回転がストップします。



ポイント!

誤ってシェルを前向きにしないよう、後ろ向きから前向きへの回転時は途中で回転がストップする構造になっています。後ろ向きモードでの使用時、お子さまの乗せ降ろしは、この状態で行ってください。

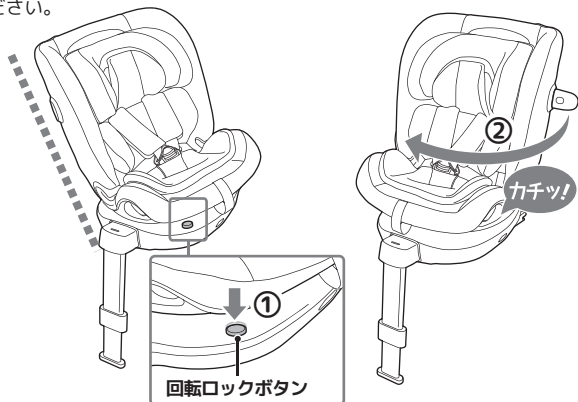
02

お子さまを乗せ降ろしする場合はドア側に横向きにします。横向きの状態ではシェルは固定されませんので乗せ降ろしの際はご注意ください。



03

前向きモードまたはブースターモードに切り替えたい場合は、そのまま④回転させる側の回転ロックボタンを押し込んで回転ロックを解除して、⑤シェルが前向きになるように回転させます。カチッと音がしてシェルが前向きで固定されていることを確認してください。

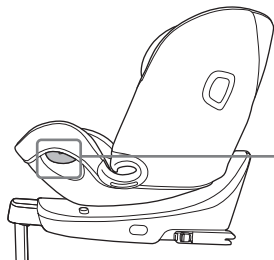


ポイント!

回転させる側の回転ロックボタンを操作します。反対側の回転ロックボタンを押しても回転ロックは解除されません。

04

前向きに回転させたら、左右の回転レバーの回転ロックインジケーターが両方とも緑色になります。赤色の場合は回転が不十分などの理由によりシェルが固定されていないので、左右の回転ロックインジケーターが緑色になるように操作し直してください。



前向きから後ろ向きへの回転

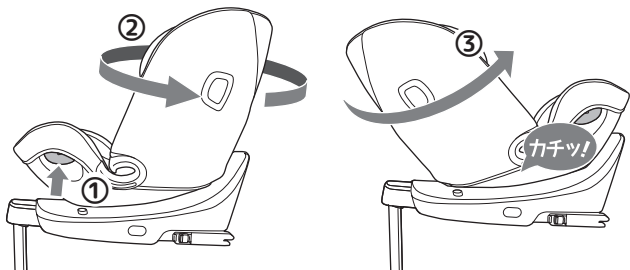
01

基本的な操作は、後ろ向きから前向きへの回転と同様です。後ろ向きへの回転の場合は、途中でストップすることなく回転させることができます。

前向きモードでの使用中、お子さまを乗せ降ろしする場合は後ろ向きになるまで回転させず、横向き状態で乗せ降ろししてください。

シェル側面の左右いずれかの①回転レバーを押上げて、②シェルの回転させます。

③カチッと音がしてシェルが後ろ向きで固定されていることを確認してください。

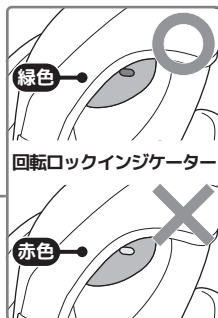
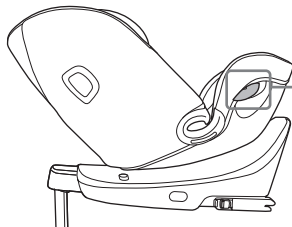


ポイント!

前向きから後ろ向きに回転させる場合、回転ロックボタンは使用しません。

02

後ろ向きに回転させたら、左右の回転レバーの回転ロックインジケーターが両方とも緑色になります。赤色の場合は回転が不十分などの理由によりシェルが固定されていないので、左右の回転ロックインジケーターが緑色になるように操作し直してください。



⚠注意

ブースターモードでは原則としてシェルを回転させないでください

3点式シートベルトが本製品の肩ベルトガイドを通っている状態でシェルを回転させるとシート肩ベルトが干渉して思わぬ動きをするおそれがあり、お子さまが乗っている場合には思わぬ事故につながるおそれがあります。ブースターモードでシェルを回転させたい場合は、お子さまを降ろしてシート肩ベルトを本製品の肩ベルトガイドから抜き取り、安全を確認しながらシェルを回転させてください。

ブースターモードへの切り替えかた



身長が 100cm 以上かつ 3.5 歳以上のお子さまは本製品をブースターモードに切り替えて使用することができます(身長 150cm かつ 12 歳までご使用いただけます)。

ブースターモードでは、お子さまは自動車の 3 点式シートベルトを装着します。本製品のハーネス、バックルを使用しませんのでシェル内に収納する操作が必要となります。

後ろ向きモード、前向きモードとは使用方法が異なりますのでご注意ください。

なお、ブースターモードでも ISOFIX 固定装置を併用して本製品を座席に固定した上で、お子さまに 3 点式シートベルトを装着させて使用することができます。

⚠危険

ハーネス、バックルをシェル内に収納すること

ブースターモードでは本製品のハーネスとバックルを使用しません。ハーネスとバックルは、本書の指示に従ってシェル内の所定の場所に収納してください。

ハーネス、バックルが収納されていないとお子さまが不快になるばかりか、思わぬ事故につながるおそれがあります。

01

あらかじめ、以下を参照して股ベルトパッドとインファントインサートを取り外しておきます。取り外した股ベルトパッドとインファントインサートはお子さまの手の届かない場所で大切に保管しておいてください。

参照 P33-35 ▶インファントインサートの外しかた

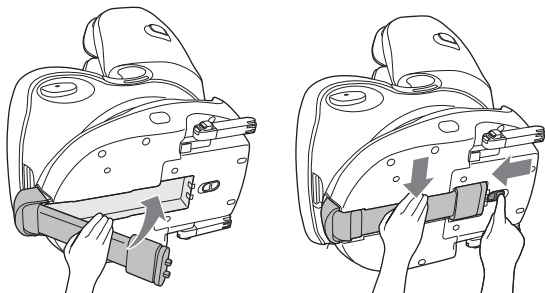
⚠注意

ブースターモードではインファントインサートは使用できません

ブースターモードで使用する際には、インファントインサートを取り外してください。

02

サポートレッグをベース内に収納します。



参照 P42 ▶サポートレッグ▶05

03

肩ベルトを最後までしっかりとゆるめておきます。

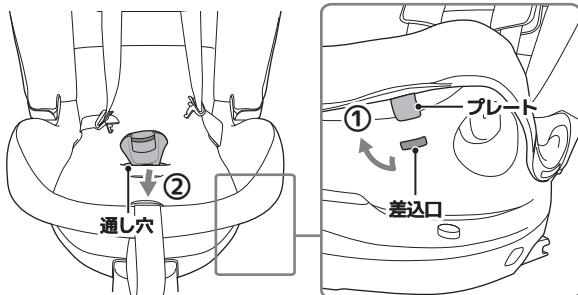
参照 P37 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶01

ポイント！

ブースターモードに切り替えるとベルトアジャスターの操作が困難になります。あらかじめ肩ベルトを最後までゆるめておかないと、ヘッドサポートが一定以上の高さに調節できなくなるおそれがあります。

04

①シェル先端部でシートカバーを留めている左右の樹脂プレート（フプレート）のいずれか一方を差入口から抜き、②受けバックルをシートカバーの通し穴から抜き取ります。



ポイント！

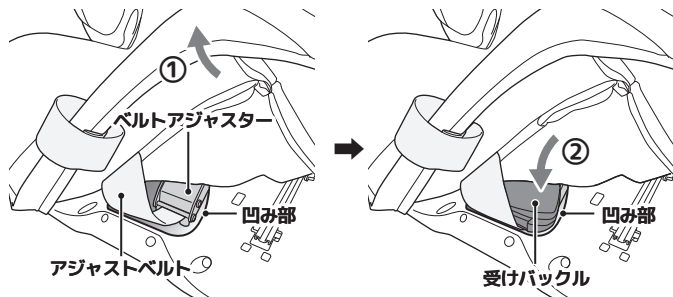
ここでは、左右両方のプレートを抜く必要はありません。

⚠ 注意

プレートの取り外し操作は固めです
ケガをしないように注意してください。

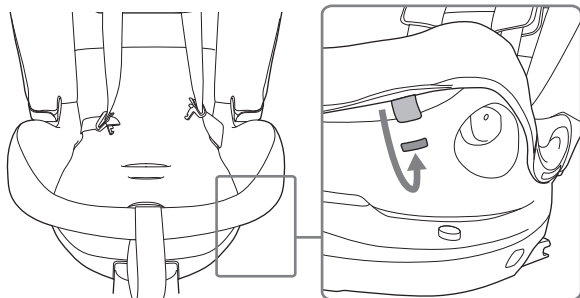
05

プレートを外した側の①シートカバーをめくり上げて、②受けバックルをベルトアジャスターのある凹み部にベルトアジャスターとアジャストベルトの根本に重ねるようにして収納します。



06

04 で外したプレートを差込口に差し込んで留めます。



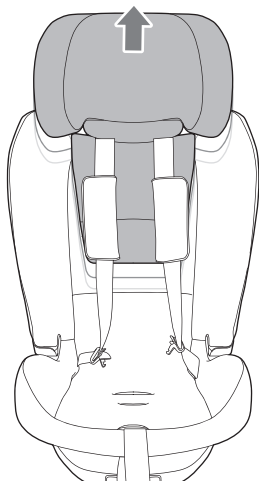
⚠ 注意

プレートの取り付け操作は固めです
ケガをしないように注意してください。

07

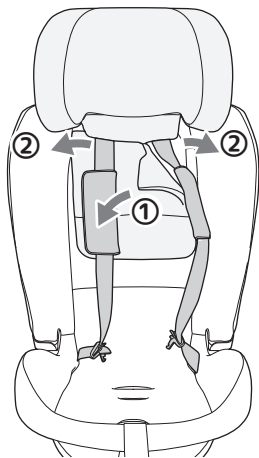
ヘッドサポートを最も高い位置に調節します。ヘッドサポートが途中で止ってしまう場合はベルトアジャスターを操作して、ハーネスをゆるめてください。

参照 P39 ▶ヘッドサポートの高さ調節▶ 02



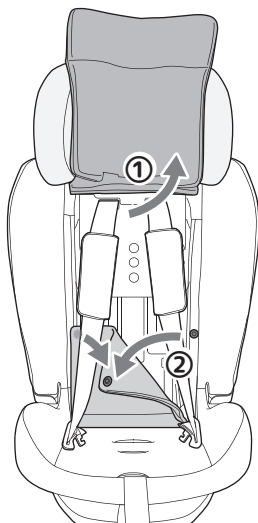
08

①ヘッドサポート下部の肩ベルトを通してある部分をめくり、②肩ベルトを外側に抜き出します。左右とも同じようにしてください。



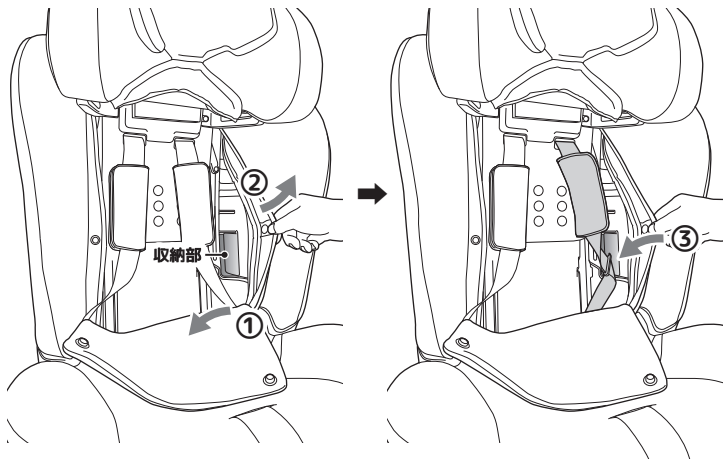
09

①ヘッドサポート下部を上にくくり上げ、②シートカバーの腰部分を左右で留めているホックボタンを外します。左右とも同じようにしてください。



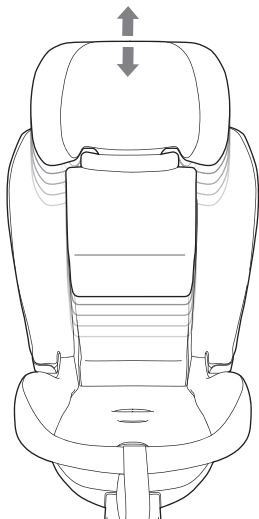
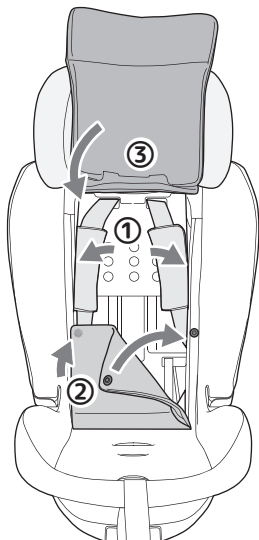
10

①ハーネスの腰ベルトをシートカバーの内側にして、
② 09 で外したホックボタンあたりのシートカバーを
めくって収納部を出します。
③ 収納部に差し込みタングを押し込んで収納します。
左右とも同じようにしてください。



11

①ハーネス、肩ベルトパッドをシートカバーの内側にして、②09で外した左右のホックボタンを留めて、③ヘッドサポートの下部を下ろして被せます。④腰ベルトパス部に差し込んであるシートカバーのプレートがズレてはみ出している場合があります。このような場合には、プレートを腰ベルトパス部に押し込んでください。左右とも同じようにしてください。



12

図のような状態になっていることを確認します。ヘッドサポートの調節がスムーズに操作できると、ヘッドサポートが最も高い位置まで調節できることを確認してください。

13

ブースターモードから後ろ向きモードまたは前向きモードに戻すには、逆の手順を行ってください。



ポイント!

ブースターモードご使用になる場合は、以下のページへとお進みください。

参照 P80-89 ▶ブースターモードでのお子さまの乗せかた

後ろ向きモード、前向きモードでのお子さまの乗せかた

後ろ向きモードと前向きモードでは、お子さまは本製品のハーネスを装着します。乗せかた、降ろしかたの手順は同様ですが、後ろ向きモードと前向きモードでは適切な肩ベルトの高さが異なりますのでご注意ください。

危険

正しい向きで使用する

お子さまの身長が 76cm 以上になり、かつ生後 15 ヶ月を過ぎるまでは後ろ向きでのみ使用可能です。前向きで使用してはいけません。

警告

お子さまの乗り降りは本製品をシートに取り付けた状態で行うこと

お子さまを乗せたまま本製品の取り付け、取り外しを行わないでください。お子さまが落下するおそれがあります。

準備と確認

01

お子さまの月齢、体格に合わせてインファントインサートを使用します。
前向きモードでご使用になる場合は、インファントインサートは使用できませんので取り外してください。

ポイント!

お子さまの身長が 60cm を超えるまではインファントインサートをお使いください。

参照 P33-36 ▶インファントインサートの使いかた

02

本製品が正しく自動車の座席に取り付けられていることを確認してください。

参照 P50 ▶取り付けかた▶チェックリスト

03

お子さまの成長や座面の角度に応じてリクライニングの角度を調節してください。

参照 P38 ▶リクライニングの使いかた

04

使用するシェルの向きの状態（後ろ向きモードまたは前向きモード）でサイドインパクトプロテクションがドア側になるように取り付けます。

参照 P30-31 ▶サイドインパクトプロテクション (SIP) の使いかた

05

お子さまを乗せやすい方向にシェルを回転させてください。

参照 P59-65 ▶シェルの回転

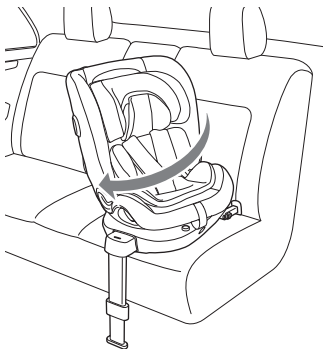
ポイント!

シェルの回転させずに乗せ降ろしすることもできます。

⚠注意

シートの動きに注意してください

シートは、前向きまたは後ろ向きでのみベースに固定されます。横向きの状態ではシートは安定しませんので、注意してお子さまの乗せ降ろしを行ってください。



お子さまの乗せかたと降ろしかた

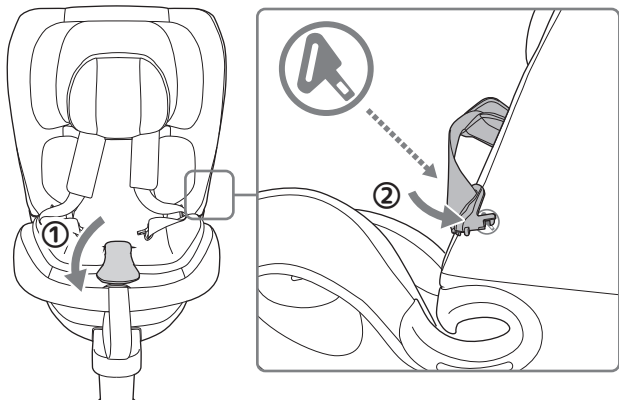
01

あらかじめ肩ベルトを十分にゆるめてバックルを外しておきます。

参照 P37 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶01

02

①股ベルトパッドを前方に倒して、②差込みバックルをシェル側面のカバーの差込みタンクの絵図の部分に留めておきます。絵図の部分にはマグネットが入っていますので、お子さまの乗り降りの際に邪魔にならないよう、差込みタンクを簡易に留めておくことができます。左右の差込みタンクとも同じようにしておいてください。



03

下図のようにお子さまを楽な姿勢にして、本製品に座らせます。背筋を伸ばして股ベルト（受けバックル）を両足の間に入れます。



後ろ向きモード



楽な姿勢



浅すぎる



深すぎる

前向きモード



⚠危険

お子さまを正しい姿勢で乗せること

誤った姿勢で乗っているとお子さまを正しく固定できず、事故や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

04

肩ベルトが十分にゆるんでいることを確認します。
肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認して肩ベルト（肩ベルトパッド）をお子さまの肩の部分に通し、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るようにしてバックルを留めます。

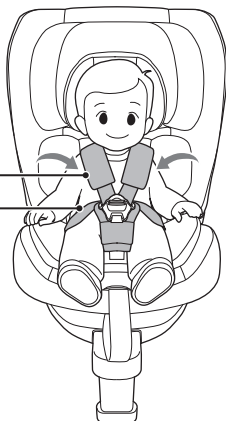
⚠ 肩ベルトにお子さまの腕を通すこと

⚠ 腰ベルトを骨盤の上に通すこと

⚠ 危険

ハーネスをねじらないようにすること

ハーネスにねじれがあると本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。



05

バックルが「カチッ」と音がして固定されていること、バックルボタンの下部に緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。

参照 P32 ▶バックルの留めかた

ポイント!

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず、ハーネスをゆるめてからバックルを留めます。

参照 P37 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01



⚠ 危険

必ずバックルの状態を確認すること

差込みタングが受けバックルにしっかりと差し込まれ、緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。お子さまが操作されてバックルが外れたりすることもありますので、本製品の使用中は適宜バックルの状態を確認してください。差込みタングを受けバックルに差し込んでも緑色のインジケーターが表示されない場合は、ご使用にならないでください。

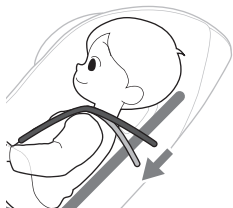
06

肩ベルトの高さを確認、調節します。ハーネスが締め付けられている場合はさらに肩ベルトをゆるめてください。

後ろ向きモードと前向きモードでは適切な肩ベルトの高さが異なります。下図を参照してご使用になるモードに応じてヘッドサポートを操作して肩ベルトの高さを適切に調節してください。

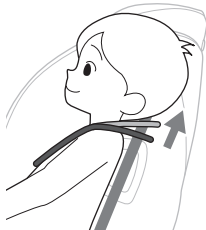
参照 P39 ▶ヘッドサポートの高さ調節▶ 02

後ろ向きモードの場合



肩ベルトは、お子さまの肩と同じ高さから少し低い位置までの間で調節してください。

前向きモードの場合



肩ベルトは、お子さまの肩と同じ高さから少し高い位置までの間で調節してください。

⚠危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは必ず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際にお子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

やさしく、ゆっくりと操作すること

肩ベルトの高さ調節はお子さまに負担がかからないように、やさしく、ゆっくりと操作してください。

 ポイント!

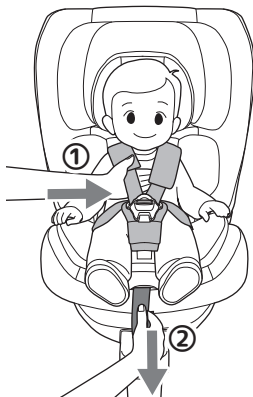
肩ベルトの高さは使用ごとに調節する必要はありませんが、適切な高さになっているか使用前には確認するようにしてください。

インファントインサートを調節した場合は肩ベルトの高さ調節が必要となります。

また、お子さまの成長に合わせて適宜調節してください。

07

肩ベルトを適切な高さに調節したら、肩ベルトとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引いて締めつけます。差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで締め付けるようにします。



危険

アジャスターベルトは慎重にゆっくりと操作すること

肩ベルトが強く締めすぎるとおそれがありますのでアジャスターベルトを勢いよく引っ張らないでください。

強く肩ベルトが締まるほどお子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。締めつけがゆるすぎると使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず適切な強さで締め付けるようにしてください。

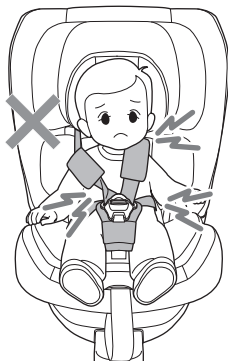
 ポイント!

締め付けすぎた場合はベルトアジャスターを使って肩ベルトをゆるめてから締めなおしてください。

参照 P37 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01

ハーネスが正しい状態になっていることを確認してください。

ハーネスにねじれがなく、肩ベルトの高さが適切に調節されていて、肩ベルトパッドがお子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の位置を通るよう必ず確認し、正しくなるように調節してください。



⚠ 危険

ハーネスは正しい状態で使用すること

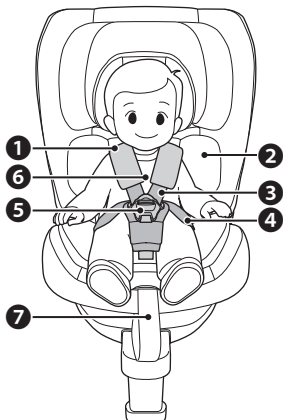
ハーネスは必ず正しい状態で装着してください。ハーネスがゆるんでいたり、ねじれていたり、肩ベルトが腕の位置や頸部を圧迫する位置を通っていたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通っていたりすると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか、通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。ハーネスは必ず正しい状態にして、使用中もハーネスがずれたり、ゆるんだりしていないか適宜確認するようにしてください。

09

以下のチェックリストを参照して、正しい状態になっていることを確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。

ポイント!

チェック項目は後ろ向きモードでも前向きモードでも同様です。



チェックリスト

① 肩ベルトの高さが適切に調節されていること

※肩ベルトの適切な高さは、後ろ向きモードと前向きモードで異なります。

② インファントインサートが正しく取り付けられていること（または取り外されていること）

※身長 60cm まではインファントインサートを取り付けてご使用ください。

③ 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないこと

④ 腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること

⑤ バックルがしっかりと留まっていること

※バックルのインジケーターが緑色になっていること

⑥ お子さまが正しい姿勢で座っていること

⑦ リクライニングがお子さまの成長に応じて適切に調節されていること



危険

シェルを前向きにしての使用は、お子さまの身長が 76cm を超え、かつ生後 15 カ月を超えてからです

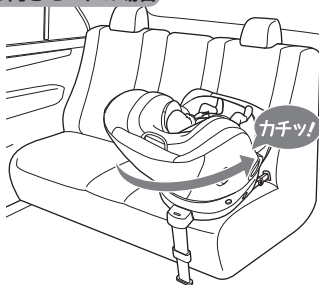
上記条件を満たすまでは後ろ向きモードでのみ使用できます。前向きモードでは絶対に使用しないでください。なお前向きモードの使用可能な期間の終期まで後ろ向きモードでも使用することができます。

シートが横向き、または斜め向きになっている場合は「カチッ」と音がするまでシートを回転させて固定します。後ろ向きモードの場合は後ろ向き、前向きモードの場合は前向きにして固定してください。軽くシートを動かして、後ろ向きまたは前向きで確実に固定されていることを確認してください。

 ポイント!

シェルを前向きに回転する場合は、回転する側の回転ロックボタンの操作が必要になります。

後ろ向きモードの場合



前向きモードの場合



回転ロックボタン



身長 76cm 以上を超えてから、かつ、生後 15 ヶ月を超えてから使用可能

 危険

シェルは安全を確認してゆっくりと回転させること

お子さまがシートベルトに引っかかったり、お子さまの手足が座席と本製品の間に挟まっていたりすると、ケガをするおそれがあります。シェルを回転させる際には、お子さまの安全を確認して、ゆっくりと回すようにしてください。

シェルを確実に固定すること

シェルは後ろ向きまたは前向きにして確実に固定してください。シェルを横向きや斜めの状態にして使用してはいけません。



参照 P59-65 ▶シェルの回転

バックルが外れると大変に危険です

バックルはお子さまには外しにくいように操作がかために設計されていますが、お子さまが成長すると自ら外してしまうおそれがあります。

本製品の使用中は、乗り降り時を除いてバックルに触れないよう、バックルを外さないよう普段から言い聞かせるようにしてください。

11

お子さまを降ろすには、降ろしやすい方向にシェルを回転させます。

バックルを外してお子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

参照 P59-65 ▶シェルの回転



警告

お子さまを勢いよく降ろさないこと

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合などに重大な事故につながるおそれがあります。お子さまがハーネスなどに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

12

お子さまを降ろした後、バックルを留めて、シェルは後ろ向き、または前向きのいずれかにして固定しておいてください。

長期間使用しない場合は、本製品を自動車の座席から外して車外で保管してください。

ブースターモードでのお子さまの乗せかた

ブースターモードでは、お子さまは自動車の座席の3点式シートベルトを装着します。本製品を ISOFIX 固定装置に固定して使用している場合も3点式シートベルトのみで使用している場合も、お子さまの乗せ降ろしの方法は同じですが、3点式シートベルトのみで使用している場合はお子さまを本製品から降ろすと本製品も座席の上で固定されていない状態になりますのでご注意ください。



危険

お子さまの身長が 100cm を超え、かつ 3.5 歳以上になってから使用すること

お子さまの身長が 100cm を超え、かつ 3.5 歳以上になるまでは、後ろ向きモードまたは前向きモードでのみ使用可能です。

ハーネス、受けバックルは正しく所定の場所に収納すること

ブースターモードでは、本製品のハーネスは使用しません。「ブースターモードへの切り替えかた」を参照して、ハーネス、受けバックルを所定の場所に収納してください。



警告

お子さまの乗り降りは本製品をシートに取り付け、または設置した状態で行うこと

お子さまを乗せたままで本製品の取り付け、取り外しを行わないでください。お子さまが落下するおそれがあります。

準備と確認

01

本製品をブースターモードに切り替えます。

参照 P65-70 ▶ブースターモードへの切り替えかた

02

本製品が正しく自動車の座席に取り付けられていること、または正しく設置されていることを確認してください。ISOFIX 固定装置を使用する場合は、後ろ向きモード、前向きモード同様に、正しく ISOFIX 固定装置に固定してください。

参照 P50 ▶取り付けかた▶チェックリスト

参照 P58 ▶3点式シートベルトのみで使用する場合の設置▶チェックリスト

03

お子さまの成長や座面の角度に応じてリクライニングの角度を調節してください。

参照 P38 ▶リクライニングの使いかた

04

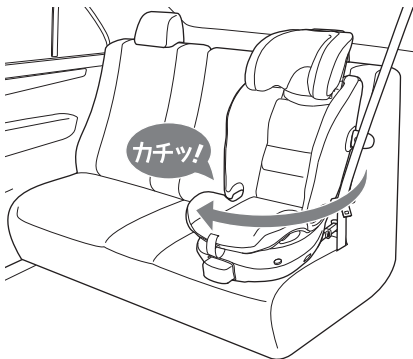
本製品を取り付け、または設置する座席のドア側になるようにサイドインパクトプロテクションを取り付けます。

参照 P30-31 ▶サイドインパクトプロテクション (SIP) の使いかた

05

シェルの前向きになっていない場合は、前向きの状態にして固定します。

参照 P61-63 ▶後ろ向きから前向きへの回転





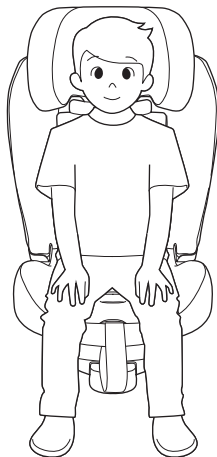
ブースターモードでは原則としてシェルを回転させないでください

3点式シートベルトが本製品の肩ベルトガイドを通っている状態でシェルを回転させるとシート肩ベルトが干渉して思わぬ動きをするおそれがあり、お子さまが乗っている場合には思わぬ事故につながるおそれがあります。ブースターモードでシェルを回転させたい場合は、お子さまを降ろしてシート肩ベルトを本製品の肩ベルトガイドから抜き取り、安全を確認しながらシェルを回転させてください。

乗せかた

01

お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にしてシートに座らせます。シートの座面中央に深く座らせてください。

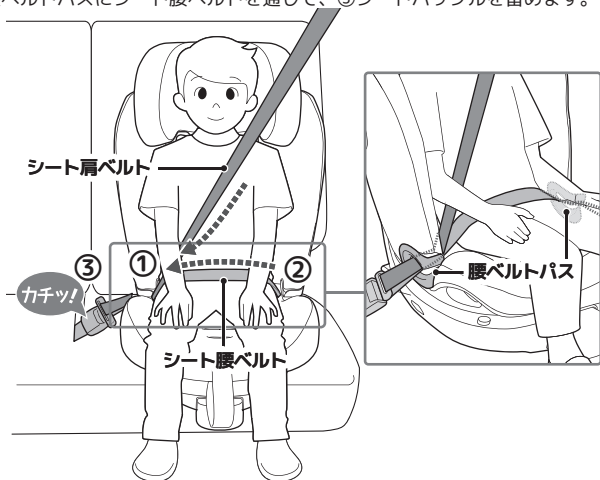


ポイント!

以下は、自動車を正面から見て右側の座席にお子さまを乗せる場合を説明しています（お子さまの左手側に自動車のドアがある状態）。左側の座席に乗せる場合は、左右が逆になりますのでご注意ください。

02

シートベルトをねじらないように注意して、①シートバックル側の腰ベルトパス（緑色で指示されています）にシート肩ベルトとシート腰ベルトを通し、②自動車のドア側の腰ベルトパスにシート腰ベルトを通して、③シートバックルを留めます。



⚠危険

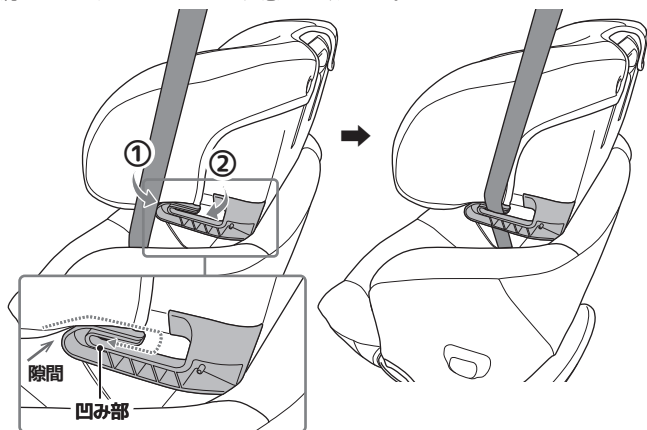
シートベルトは腰ベルトパスを通すこと

シートベルトが腰ベルトパスを通っていないと、お子さまが正しくシートベルトを装着できず事故や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出したり、過剰な負担がかかるおそれがあります。



03

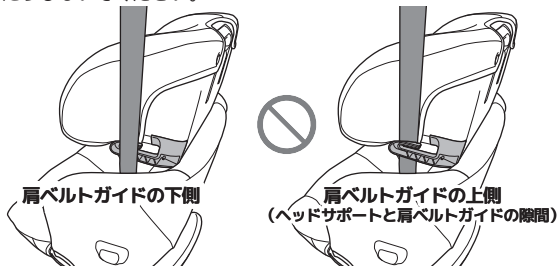
シート肩ベルトを、自動車のドア側の肩ベルトガイド（緑色で指示されています）に通します。①ヘッドサポートと肩ベルトガイドの隙間からシート肩ベルトを差し入れ、そのまま奥まで差し込み、②凹み部にシート肩ベルトを入れます。シート肩ベルトをねじらないように注意してください。



⚠危険

シート肩ベルトを正しく肩ベルトガイドに通すこと

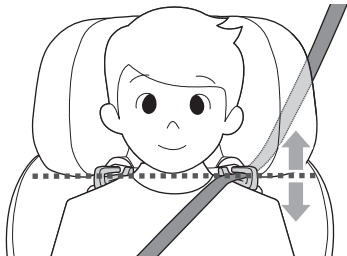
事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。シート肩ベルトを肩ベルトガイドの下側や上側、また肩ベルトガイド以外の場所を通したりしないでください。



04

肩ベルトガイドの高さを適切に調節します。
ブースターモードでは、肩ベルトガイドが
お子さまの肩と水平になる位置に調節して
ください。

高すぎたり、低すぎたりする場合は、ヘッド
サポートを適切な高さに調節します。

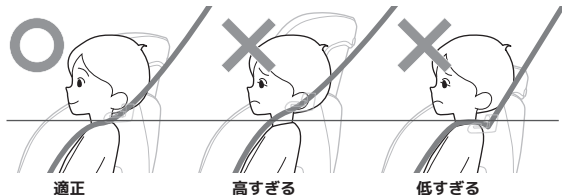


参照 P39 ▶ヘッドサポートの高さ調節▶ 02

⚠危険

肩ベルトガイドの高さを適切に調節すること

肩ベルトガイドは、お子さまの肩と同じ高さに調節します。肩ベルトガイドが高すぎたり、低すぎたりすると、お子さまが本製品から飛び出したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



05

シート肩ベルトが、左右で正しい位置を通るようにしてください。正しい位置より外側、内側を通っている場合、お子さまの座る位置や3点式シートベルトのみで使用する場合は本製品を左右に動かして正しい位置にします。シート肩ベルトは、正しい高さで、正しい位置を通るようにしてください。



⚠危険

シート肩ベルトは、必ず正しい位置を通すこと

シート肩ベルトが、正しい位置よりもお子さまの首側（内側）にあると事故や衝撃を受けた際にシート肩ベルトがお子さまの首を圧迫し大変危険です。正しい位置よりも外側の場合、事故や衝撃を受けた際にお子さまがシート肩ベルトからすり抜けて飛び出るおそれがあります。

シート肩ベルトがお子さまの顔、頭部、首に掛かっている場合はそのまま使用せず、ヘッドサポートの高さの調節や、本製品の位置を左右に微調整するなどしてシート肩ベルトが正しい高さ、正しい位置になるようにして使用してください。

シート腰ベルトだけで使用しないこと

シート肩ベルト、シート腰ベルトの両方を使用してください。シート肩ベルトをシートの裏側に回したり、左右両方の腰ベルトパスにシート肩ベルトを通すなどして、シート腰ベルトだけの状態にして使用してはいけません。

二点式のシートベルト（シート腰ベルトのみ）の座席では使用できません

ブースターモードでは、3点式シートベルトを使用します。中央席などに多い、腰ベルトのみのシートベルトが装備された座席では使用できません。

シート肩ベルトを正しく使用すること

肩ベルトをゆるめたり、脇の下を通したりしないこと。シート肩ベルトをお子さまの背中側にして使用しないこと。

お子さまを正しく座らせること

お子さまが本製品のシート内で前方にずれる（お尻を前にずらす）と、肩ベルトがお子さまの首にかかり、お子さまの首が締められるおそれがあります。本製品使用中は、お子さまが正しい状態で座っているように注意、確認してください。

06

シートベルトにねじれがないことを確認して、①シート腰ベルトの位置を調節して、お子さまの骨盤の上に腰ベルトが通るようにします。②シート肩ベルトを引いてシートベルトにたるみがないようにします。

⚠警告

シート腰ベルトは骨盤の上を通すこと

事故や急制動などの際に衝撃を骨盤で受けられるよう、シート腰ベルトをお子さまの骨盤の上を通すようにしてください。骨盤の上を通っていないと、内臓の損傷、骨折にいたる危険性が高まります。



⚠ シート腰ベルトを骨盤の上に通すこと

07

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっていることを確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。

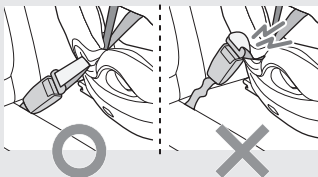
ポイント！

チェック項目は ISOFIX 固定装置を使用している場合も、3 点式シートベルトのみで使用している場合も同様です。



チェックリスト

- ① シート腰ベルトが左右の腰ベルトパスを通過していること
- ② シートバックルにシートタングが確実に留まっていること
- ③ 腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通過していること
- ④ シートベルト（シート肩ベルト、シート腰ベルト）にねじれがないこと
- ⑤ 肩ベルトの高さが適切になっていること
肩ベルトの位置（左右）が適切な状態に調節されていること
- ⑥ シートバックルのベルトが長すぎる、または位置が高すぎる場合、腰ベルトパスにシートバックルが干渉するため、その座席では使用しないこと



- ⑦ (ISOFIX で固定している場合のみ) ISOFIX コネクターが ISOFIX 固定装置に固定され、ISOFIX インジケーターが左右とも緑色になっていること。

08

お子さまにシートバックルに手を触れないよう言い聞かせてご使用ください。お子さまがシートバックルに手を触れ、バックルを外してしまうおそれがあります。

警告

シートベルトは常に正しい状態で使用すること

お子さまがシートバックルに手を触れてバックルを外してしまったり、シートベルトから抜け出そうとしたりするおそれがあります。常日頃から、シートバックルには手を触れないよう、シートベルトを正しく装着しておくよう言い聞かせるようにして、本製品の使用中は適宜安全の確認をするようにしてください。

ポイント!

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の監視のもとで乗り降りさせるようにしてください。

お子さまが成長すると、お子さまの体動や行為により、シートベルトやバックル、本製品の状態が使用中に変化することがあります。本製品が正しい状態になっているかを適宜確認するようにしてください。

お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろしするたびに、肩ベルト（ヘッドサポート）の高さが適切かどうか確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

09

お子さまを降ろす場合は、シートベルトのバックルを外してお子さまを降ろしてください。

長期間使用しない場合は、本製品を自動車の座席から外して車外で保管してください。

注意

本製品を固定せずに車室内に放置しないこと

3点式シートベルトのみで本製品を使用している場合、お子さまを本製品から降ろすと本製品は座席に固定されません。適切な方法で本製品を固定するかトランクに収納するなどしてください。本製品を固定しないまま車室内に放置しないでください。

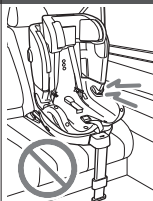
お手入れのしかた

お手入れのためにカバー類、肩ベルトパッド、股ベルトパッドを取り外すことができます。

お手入れ後は、取り外したカバー類を必ず取り付けなおしてください。

本製品を後ろ向きモードまたは前向きモードで使用する場合は、肩ベルトパッドと股ベルトパッドは必ず取り付けてください。

⚠危険



カバー類を取り外して使用しないこと

カバー類を取り外して使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できません。本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外した状態で使用しないでください。カバー類、ウレタンも安全に関わる重要な部品です。決して取り外して使用しないでください。また同様に、本製品に縫い付け、または貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

カバー類を外した状態の本製品はお子さまの手の届かない場所で保管すること

お子さまが本製品の機構部に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。お手入れ等のため、カバー類やパッド類、クッション類を取り外した場合、取り付け直すまでの間はお子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

⚠警告

内部機構に手を加えないこと

カバー類を取り外すとシェルの内部機構が見える状態になります。ハーネスの機構やその他の機構に手を加えたり触らないようにしてください。また、内部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがありますので、カバー類を取り外したシェルには毛布を被せるなどしておいてください。

⚠注意

可動部位に注意すること

手指を挟むおそれがありますので、カバー類の取り外し、取り付け操作時に本製品の可動する部位に注意してください。回転レバーやリクライニングレバーを操作するとシェルが動きますので、特にご注意ください。

股ベルトパッド、インファントインサート、肩ベルトパッド、カバー類の取り外し

ポイント!

取り付け直す際の参考になりますので、以下の各項目（取り外し）を行う際に各作業をスマートフォンなどで撮影しておくで後から操作が確認できて便利です。

ブースターモードで使用されている場合は、ヘッドサポートカバーとシートカバーのみの取り外しを行います。

⚠注意

安全な場所で作業すること

自動車内に固定したままカバー類や肩ベルトパッド、インファントインサートの取り外しを行わないでください。ケガや破損、故障につながるおそれがありますので、室内の安全な場所でお子さまを近づけずに作業するようにしてください。

股ベルトパッド、インファントインサート

01

股ベルトパッド、インファントインサートを取り外します。

以下を参照して、取り外し、取り付け、お手入れしてください。

参照 P33-36 ▶インファントインサートの使いかた

肩ベルトパッド

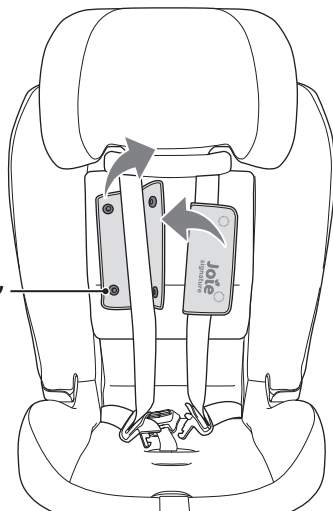
01

あらかじめバックルを外しておきます。

02

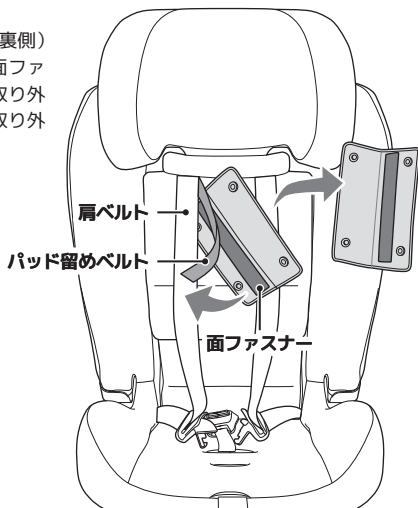
肩ベルトパッドのホックボタンを外して肩ベルトパッドを開きます。左右とも同じようにしてください。

ホックボタン



03

肩ベルトパッドと肩ベルトの下側(裏側)のパッド留めベルトを留めている面ファスナーを外して肩ベルトパッドを取り外します。左右とも同じようにして取り外すことができます。

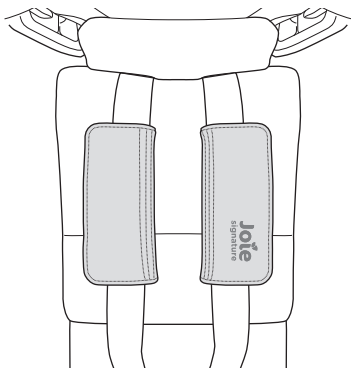


04

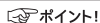
肩ベルトパッドの取り付けは逆の手順で行ってください。

肩ベルトパッドには左右があります。下図を参照してください。Joie のロゴのある肩ベルトパッドが向かって右側になります。ホックボタンのない側をお子さまの身体の内側にして、滑り止めがお子さまの身体にあたる向きにします。

左右を確認して面ファスナーの位置を合わせて肩ベルトの下側にあるパッド留めベルトに留めてください。



ヘッドサポートカバー



ポイント!

肩ベルトパッドの取り外しから続けての操作を説明しています。

01

ヘッドサポートを高い位置に調節します。

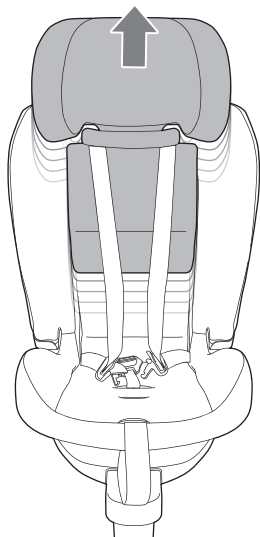
参照 P39 ▶ヘッドサポートの高さ調節▶ 02



ポイント!

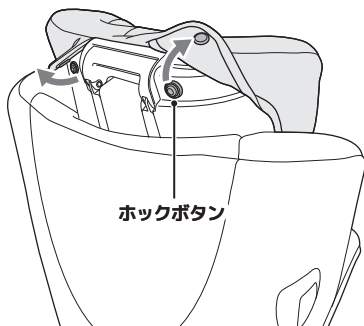
ハーネスが引っかけたヘッドサポートを高い位置に調節できない場合は、ハーネスをゆるめてから操作しなしてください。

参照 P37 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01



02

ヘッドサポート後部でヘッドサポートカバーを留めているホックボタン（2カ所）を外します。



03

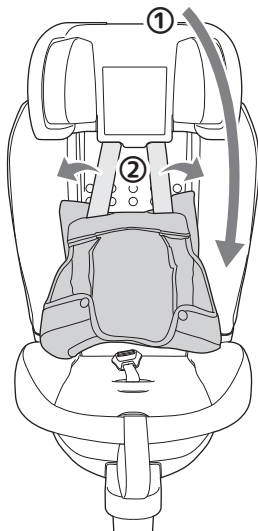
①ヘッドサポートカバー上部を前方にめくって外し、②肩ベルトを外してヘッドサポートカバーを取り外します。

⚠注意

慎重に作業してください

ヘッドサポートカバーが引っかった感じがする場合は無理をせず、引っかった場所がないか確認するようにしてください。

ヘッドサポートの内側に取り付けられている、衝撃吸収材、ウレタン等に傷をつけないように注意してください。



04

取り付けは逆の手順で行ってください。

シートカバー

01

サイドインパクトプロテクションが取り付けられている場合は、取り外しておいてください。

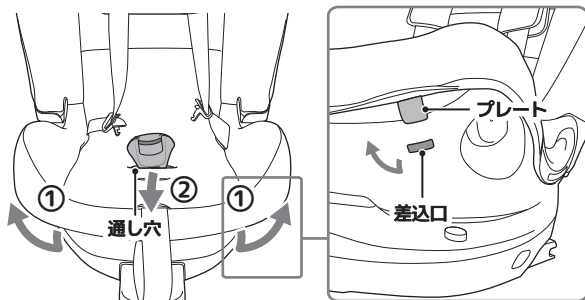
参照 P31 ▶サイドインパクトプロテクションの使いかた▶ 02

👉ポイント!

サイドインパクトプロテクションが取り付けられた状態でシートカバーの取り外し、取り付けはできません。

02

①シェル先端部の左右の差込口でシートカバーを留めているプレートを取り外し、②受けバックルをシートカバーの通し穴から抜きます。左右とも抜いてください。



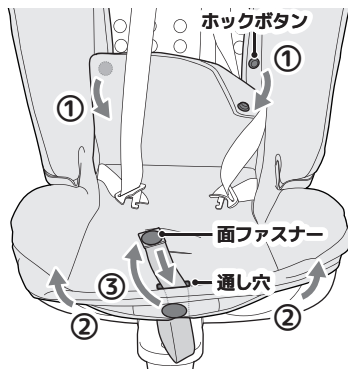
注意

プレートの取り外し操作は固めです

ケガをしないように注意してください。

03

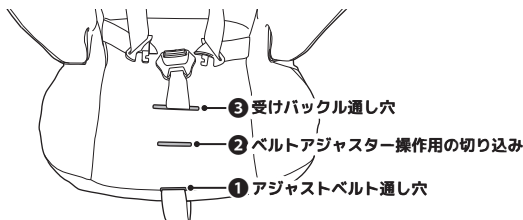
①シートカバーの背もたれ内側の左右あたりに留めてあるホックボタンを外します。左右とも外してください。②シェルの先端部のシートカバーをめくり上げます。③シートカバー先端部の裏側に留めてあるアジャストベルト先端の面ファスナーを外して、そのままシートカバーの通し穴から抜き取ります。



⚠注意

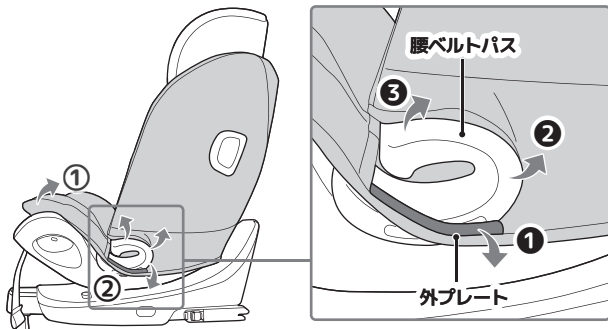
通し穴、差込口、切り込みに注意して取り付けること

シートカバーを取り付け直す際に、通し穴を間違えないように注意してください。シートカバーの座面部には、通し穴（切り込み）が3カ所あり、座面先端部から順に、①アジャストベルト通し穴、②ベルトアジャスター操作用の切り込み、③受けバックル通し穴



04

①シートカバー前端部をめくり上げ、②腰ベルトパスの下部に差し込んであるシートカバーの外プレートを後ろ側から順（①②③の順）に外して、肩ベルトガイドの周囲にたくし込んであるシートカバーを外します。左右とも同じようにしてください。



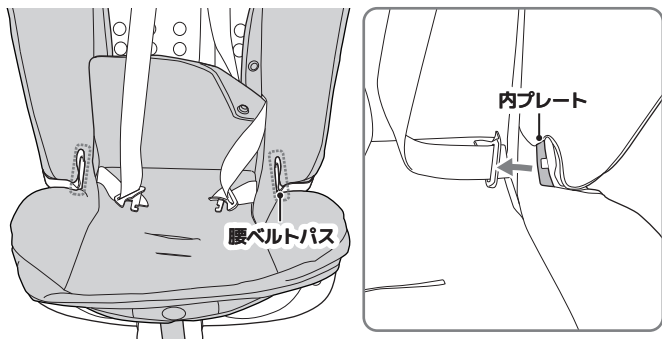
⚠注意

外プレートの取り外し操作は固めです

ケガをしないように注意してください。

05

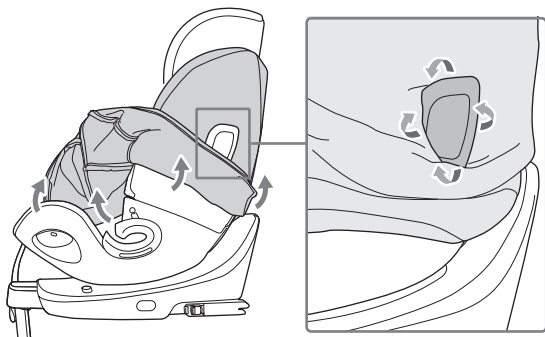
シェルの内側で腰ベルトパスに差し込まれているシートカバーの内プレートを抜きます。左右とも同じようにしてください。



06

シートカバーの下部の縁を上方向にめくってシェルから外します。

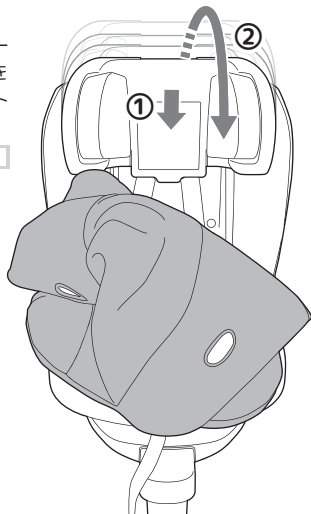
左右の SIP スロットの周囲にたくし込まれているシートカバーの生地を外します。左右とも同じようにして外してください。



07

①ヘッドサポートを低い位置に調節して、②シートカバーを引き上げながら、ヘッドサポートをシートカバーの隙間から抜くようにしてシートカバーを外します。

参照 P39 ▶ヘッドサポートの高さ調節▶ 02



⚠ 警告

内部機構に手を加えないこと

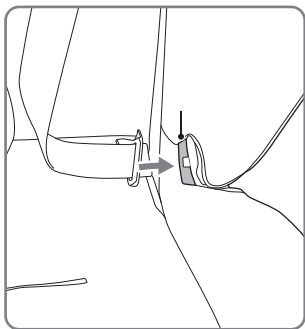
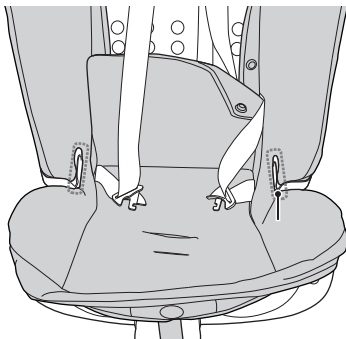
カバー類を取り外すとシェルの内部機構が見える状態になります。ハーネスの機構やその他の機構に手を加えたり触らないようにしてください。また、内部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがありますので、カバー類を取り外したシェルには毛布を被せるなどしておいてください。

08

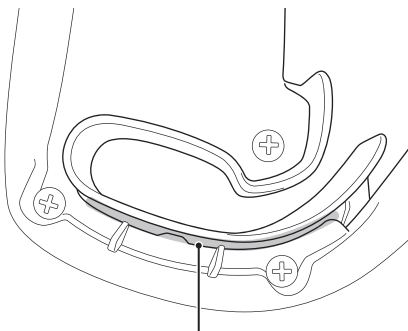
取り付けは逆の手順で行います。

シートカバー取り付け時の注意事項

シートカバーの取り付け時、左右の腰ベルトパスの下側にシートカバーの内プレートをしっかりと差し込んでください。

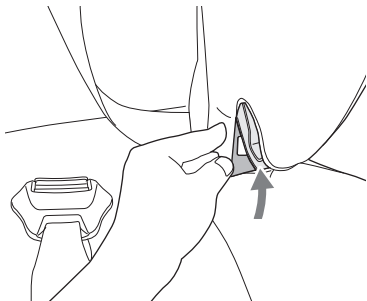


シートカバーの内プレートは、下図のグレーで示した位置に差し込みます。
左右とも同じようにして、内プレートが見えなくなるまでしっかりと差し込んでください。



図は、シートカバーを取り外した状態で、腰ベルトパス部を内側から見た状態です。グレーで示した場所に内プレートをはめるように差し込んでください。

内プレートが差し込みにくい場合、腰ベルトパスの前方（シェル座面先端側）から、滑らせるように差し込んでください。内プレートが腰ベルトパスに隠れるまでしっかりと押し込むようにします。



⚠ 注意

正しく取り付けること

本製品が安全に機能しなくなりますのでシートカバーは正しく取り付けてください。腰ベルトパス部にシートカバーの内プレートと外プレートを両方ともしっかりと差し込み、腰ベルトパスおよび SIP 周囲にシートカバーの生地をたくし込んでしっかりと留めてください。

股ベルトパッド、インファントインサート、肩ベルトパッド、カバー類のお手入れ

取り外した股ベルトパッド、インファントインサート、肩ベルトパッド、シートカバー、ヘッドサポートのカバー、肩ベルトパッドとインファントインサートは、お手入れすることができます。カバー類に縫い付けてある洗濯表示に従ってお手入れしてください。

⚠注意

指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法で洗うと、破損や破れ、型崩れ、縮みの原因になります。

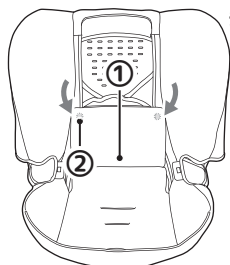
お手入れの前に取扱説明書を取り出すこと

お手入れする前にシートカバーに保管してある取扱説明書（本書）を忘れずに取り出してください。お手入れが終わりシートカバーをシェルに取り付けたら取扱説明書（本書）を忘れずに取扱説明書ホルダーに戻しておいてください。

👉ポイント！

汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

洗濯機で洗濯可能



- ①お手入れの際には取扱説明書を取り出してください。
- ②ホックボタン（左右）を留めてお手入れしてください。

肩ベルトパッド



ホックボタンを留めてお手入れしてください。

シートカバー

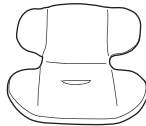
インファントインサート

・ヘッドパッド



クッションプレートは洗濯できません。

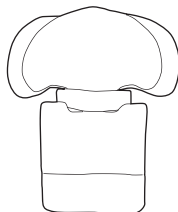
・ボディサポート



クッションは洗濯できません。



股ベルトパッド



ヘッドサポートカバー

- ① 液温 30℃を限度に、洗濯機で洗うことができます（手洗いをお勧めします）
洗濯機の容量、機種によっては、脱水機能使用時に、重量の偏りにより洗濯機が故障するおそれがあります。脱水時に偏りが発生した場合などは、30℃以下の水温で手洗いしてください。
また、ヘッドサポートの下部（樹脂プレート）が変形するおそれがありますので、力が掛からないようご注意ください。
- ② 漂白剤は使用しないでください
劣化を早め、変退色、破損の原因となりますので漂白剤は使用しないでください。
- ③ タンブラー乾燥をしないでください
破損、損傷、縮みの原因となりますので、タンブラー乾燥（乾燥機）は使用しないでください。
- ④ 日向で吊り干ししてください
型崩れしないよう、しっかりと開いてください。
- ⑤ アイロンは使用しないでください
破損、縮み、溶けの原因となります。
- ⑥ ドライクリーニングしないでください
変色、破損、縮みの原因となります。商業クリーニング、ドライクリーニングは避けてください。
- ⑦ 固定可能なホックボタン、面ファスナーは留めてください
生地を傷つけるおそれがあります。固定できない場合は布で覆うなどしてください。

⚠注意

原液の中性洗剤、有機溶剤を使用しないでください

未希釈の中性洗剤、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、溶解、破損、損傷のおそれがあります。

きつく絞らないでください

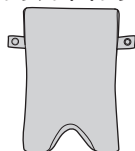
型崩れ、変形の原因となります。

水洗いできません

インファントインサートのクッションは、洗濯機や水に浸けて洗うことはできません。

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

インファントインサート



クッション

お手入れ後の取り付け

肩ベルトパッド、カバー類、インファントインサートはよく乾かしてから取り付けてください。

本体（ベース・シェル）のお手入れ

⚠危険

潤滑剤を絶対に使用しないこと

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤を絶対に使用しないでください。

潤滑剤が付着すると本製品が変質、破損したり、安全に機能しなくなったりするおそれがあります。

樹脂部分・衝撃吸収材

01

表面の汚れは、お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。衝撃吸収材は特にやさしくお手入れしてください。

洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

⚠注意

指定外の方法で洗浄しないこと

指定外の方法で洗浄すると、破損や故障の原因になります。

洗剤類は使用しないでください

洗剤、洗浄液などは使用しないでください。含まれる成分によっては樹脂や衝撃吸収材に影響を与えるおそれがあります。劣化、変質、溶解の原因になる可能性があります。

市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）、赤ちゃんのお尻ふきの使用には注意してください

含まれる成分によっては樹脂や生地、特に衝撃吸収材に影響を与えるおそれがあります。劣化、変質、溶解の原因になる可能性があります。

ISOFIX コネクター・サポートレッグ

ISOFIX コネクター、サポートレッグ、自動車の ISOFIX 固定装置は常に清潔を保つようにしてください。

01

表面の汚れは、お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

⚠危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

潤滑剤を絶対に使用しないこと

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤や、潤滑性のある物質を含む洗剤等を絶対に使用しないでください。潤滑剤に限らず潤滑性のある洗剤等の物質が付着すると ISOFIX による固定に影響を与えて思わぬ事故につながるおそれがあります。

金属部分

01

バックルおよび ISOFIX コネクター、サポートレッグを除く金属部分は、お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水に浸し良く絞った柔らかい布で汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。中性洗剤を使用した場合、お手入れ後は洗剤をよくふき取ってください。

⚠危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

ハーネス（ベルト類）

01

肩ベルト、腰ベルト、股ベルト、アジャスターベルトは取り外しできません。

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

バックル（受けバックル、差込みタング）

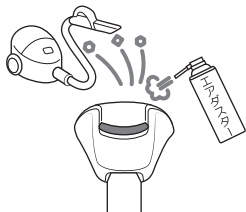
01

バックル類は取り外しできません。

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

02

受けバックルの内側は市販のエアダスターを使用してゴミやほこりを吹き飛ばすか掃除機を使用して吸い取るようにしてください。



除菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意

除菌・抗ウイルスのスプレー、ミスト、ジェル等の製品には、本製品の縫製品、樹脂、金属に影響を与える成分が含まれている可能性があります。本製品に対する使用にあたっては、あらかじめこれらの製品のメーカーにお問い合わせの上、影響の有無についてご確認ください。

保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は自動車から取り外しておいてください。

ゴミやほこりがバックル内に入らないように保管時もバックルは留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のあたる場所や露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従って正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示した上でシートカバーを破るなどして再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	ジョイー・チャイルドシート アイ-スピンXL		
お買い上げ日			
お客様	ご住所 〒 -	お買い上げ 販売店名	店名 住所 電話番号
	お名前 電話番号 - -		

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

- 保証期間中に正常な使用状態において、万が一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
- 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
 - ・本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
 - ・お客様のご購入を証明することができない場合
 - ・本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた故障、破損、不良の場合

- ・ 正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類等縫製品のほつれの場合
- ・ 部品の紛失の場合

3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。

- ・ 事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・ 誤使用、または改造、不当な分解によって生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・ 本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
 - ・ 並行輸入品や海外で購入された製品の場合
 - ・ 業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
 - ・ 中古品の場合
 - ・ 本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
 - ・ 本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万が一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10～17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(Joie日本総代理店)

株式会社カトージ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シート等を貼り付けてください

Allison Baby UK Ltd,
Venture Point, Towers Business Park
Rugeley, Staffordshire, WS15 1UZ



bring the kids™
Share the joy at joiebaby.com

2506V02